（仮称）天間西児童センター機械設備工事

平成２７年　６月

株式会社　川島隆太郎建築事務所

NOTE	工事名称	（仮称）天間西児童センター機械設備工事	縮尺	単位　ＭＭ						平成２７年　６月　作製	図面名称	タイトル
			所　長	部　長	課　長	担　当	製　図	製　図				
	青森県Ａ１の２号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877									—	管理建築士　１級建築士登録213185号　工藤博文	

図 面 リ ス ト

番 号	図 面 名 称	縮 尺		番 号	図 面 名 称	縮 尺	
M－01	図面リスト			M－10	地中熱冷暖房設備　系統図・機器表		
M－02	機械設備工事特記仕様書 － 1			M－11	地中熱冷暖房設備　平 面 図 (1)	1/100	
M－03	機械設備工事特記仕様書 -2			M－12	地中熱冷暖房設備　平 面 図 (2)	1/100	
M－04	機械設備工事特記仕様書 － 3			M－13	換気設備　機 器 表		
M－05	案内図・配置図	1/200		M－14	換気設備　平 面 図	1/100	
M－06	給排水設備　衛生器具表・桝リスト表			M－15	換気設備　屋 根 伏 図	1/100	
M－07	給排水設備　平 面 図	1/100		M－16	解体工事　既存屋外排水管敷設図	1/150	
M－08	給排水設備　屋 根 平 面 図	1/100					
M－09	給排水設備　平 面 詳 細 図	1/50					

NOTE

工事名称　(仮称)天間西児童センター機械設備工事

青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺　単位 MM

所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図

平成 27 年　6 月　作製

M — 01

図面名称　図面リスト

管理建築士　1級建築士登録213185号　工藤博文

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ 工事概要

1 工事名称　（仮称）天間西児童センター機械設備工事

2 工事場所　青森県上北郡七戸町字森ノ上180-7

3 建物概要

建物名称	用途	消防法施行令 別表 第1の区分	構造	階数	延べ床面積 (m2)	備考
（仮称）天間西児童センター	児童福祉施設	(6)項のロ	木造	平家建	289.83	

4 工事種目　（⊙ 印の付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 / 工事種目	工事種別（新設・改修区分） 屋内			屋外	備考
・空気調和設備					
⊙換気設備	新設工事一式				
・排煙設備					
・自動制御設備					
⊙衛生器具設備	新設工事一式				
⊙給水設備	新設工事一式			新設工事一式	
⊙排水設備	新設工事一式			新設工事一式	
⊙給湯設備	新設工事一式				
⊙消火設備	新設工事一式				
・ガス設備					
・厨房機器設備					
・浄化槽設備					
・昇降機設備					
⊙地中熱冷暖房設備	新設工事一式			新設工事一式	
⊙ペレットストーブ設備	新設工事一式				
⊙既存屋外排水管切回し工事				解体・改修工事一式	（浸透槽共）

5 設備概要　（⊙ 印の付いたものは、主要方式を示す。）

空気調和方式等	・空気調和	・ファンコイル　・ダクト併用方式　・全空気方式　・パッケージ方式
	・温風暖房	・温風暖房方式・ファンコイル・ダクト併用方式・全空気方式（　・　定風量　・　変風量　）
		・ファンコンベクター方式　・
	・直接暖房	・温水暖房方式　・蒸気暖房方式　・温風暖房方式(FF式)　・遠赤外線放射暖房機
		・電気暖房方式　・
	・冷房	・空冷式　・水蓄熱式　・水冷式　・将来設置を考慮
	・主たる熱源機器	・ボイラー　・温水発生機（・真空式　・無圧式）・チリングユニット
		・空気熱源ヒートポンプユニット　・吸収冷温水機（・一重効用　・二重効用）
		・冷凍機（・遠心式　・スクリュー式　・吸収式）
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式　・	
給水方式	⊙水道直結方式　・高置水槽方式　・加圧送水方式（　・ポンプ直送方式　・　直結増圧方式　）	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（※ 分流式　・合流式）	
	建物外の汚水及び雑排水（※ 合流式　・分流式）	
	放流先　汚水 ⊙下水道　・屋戻浄化槽）　最終（既設排水桝）	
	雑排水 ⊙下水道　・屋戻浄化槽　・側溝　・別途桝）　最終（既設排水桝）	
給湯方式	⊙局所式　・中央式	
消火設備方式	・屋内消火栓・連結送水管⊙粉末消火設備・屋外消火栓・泡消火設備　・ﾌｰﾄﾞ等用簡易自動消火設備	
	・スプリンクラー　・不活性ガス消火設備（・二酸化炭素　・窒素　・IG-55　・IG-541）・消火器	
ガス設備方式	・都市ガス　種別（13A ,MJ/Nm（供給圧力　　Pa）　・液化石油ガス　・	

6 主たる省エネ手法　（　　）

7 指定部分及び施工条件　※ 無し　・有り（　　）

8 工 期　　・平成　年　月　日まで　/　・　日間

Ⅱ 工事仕様

1. 共通事項
質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編・平成25年版）」(以下「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編・平成25年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編・平成25年版)」(以下「標準図」という。)による。
2. 特記事項
1)項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
2)特記事項は、⊙ 印 の付いたものを適用する。
⊙印 の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。　⊙ 印 と ※ 印が付いている場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	1 書類の書式等	※ 別途に定める書式　・監督員の指示による
	2 適用基準等	※ 工事写真の撮り方　建築設備編　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　（平成24年版） ※ 青森県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン　青森県県土整備部建築住宅課　（平成21年 4月） ※ 青森県認定リサイクル製品優先使用指針　青森県環境生活部　（平成20年 4月） ※ 青森県景観条例に基づき、『青森県公共事業景観形成基準』及び『青森県景観色彩ガイドブック』を遵守すること。 ※ 防犯性の向上については『防犯に配慮した設計ガイドライン』を遵守すること。
	3 概成工期	工事期限より　日前
	4 電気保安技術者	適用する。 工事現場におく電気保安技術者は、公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)第1編 第1章 第3節 1.3.2 による。
	5 施工条件	工事期間中停止させない設備　※ なし　・あり
	6 機材等	1)（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって、所要の品質・性能を有することの評価を受けた機材等を使用する。 2) 評価書に記載のない項目については、監督職員と協議の上、機器性能・規格・納入実績・サービス体制等を証明するに十分な資料を添付し、監督員の承諾を受ける。 3) 本県に本社、支店、営業所を有するメーカー製品及び可能な限り県産材を使用すること。 4) 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、又はこれらと同等のものとする。 5)「青森県リサイクル製品認定制度」に基づく認定リサイクル製品 及び「レッツbuyあおもり新商品事業」により認定された新商品の使用について (1)認定リサイクル商品を使用する場合は、監督職員の指示する様式に必要事項を記入の上、公衆の見え易い場所に提示すること。 (2)本工事に於いて認定リサイクル製品若しくは認定された新商品を使用した場合は、工事完了後、監督職員の指示する様式に必要事項を記入の上、提出する。
	7 機器の品質・性能証明	1) 機器類の能力・容量等は表示された数値以上とする。 2) 消費電力・燃料消費量・圧力損失は原則として表示された数値以下とする。 3) 使用する機材が前項 1)による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書 第1編 第1章 第4節 1.4.2(c)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。 但し、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。

章	項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	8 機器の搬入	分割搬入を行う機器　特になし
	9 技能士の適用	⊙配管施工(配管工事)　・建築板金施工(ダクト製作及び取付け)　⊙熱絶縁施工(保温工事) ・冷凍空気調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び整備)
	10 技術検査	工事施工途中に於ける技術検査(「中間検査」)の検査時期は次により、監督職員と協議すること。 ・構材が天井仕上げ等で隠べいされる前(原則 1 回) ・主要な機器が水没等により不可視となる前 ⊙その他発注者が必要と認めた工程(別途指示による) 工事写真等を電子データにより検査する際に必要となる機器の準備及び操作は受注者が行う。
	11 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水、及び官公庁等への諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
	12 工事用仮設物	構内に作ることが　※ できる　・できない
	13 監督職員事務所	※ 設けない　・設ける 事務所には次の備品等を置く。　机、いす、書棚、衣類ロッカー、保護帽、懐中電灯、ゴム長靴、雨ガッパ
	14 足場、その他	※ 別契約の関係請負者の定置する足場、桟橋の類は、無償で使用できるものとする。 ・本工事で設置する。 ※ 足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)平成25年版 2.2.1(g)による他、設置に於いては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
	15 撤去	・内容物の回収を要する機器、配管　特になし ・搬出に当り分割、解体を要する機材　特になし
	16 発生材の処理等	1) 引渡しを要するもの　※ なし　・あり(下記による) 2) 再生資源の利用を図るもの 3) 再生資源化を図るもの(下記以外の廃棄物についても、可能な限り再資源化に努めること) ※ 特定建設資材廃棄物　・ ・塩化ビニル、継手(塩化ビニル管・継手協会のリサイクルシステムを活用する等して、再資源化を図る。) (処理終了後は間にファスト・購入証明書等の写しを監督職員に提出する。) 4) 特別管理産業廃棄物　※ なし　・あり(下記による) ・微量PCB機器　分析調査(・要 ・不要)　処理方法(　　) ・PCB機器　分析調査(・要 ・不要)　処理方法(　　) 5) 1)～ 4)以外の発生材の処理 6) 建設発生土の処理　※ 構内指示の場所に散き均し　・構内指示の場所に堆積 ・構外搬出適正処理(※ 本工事(約　km　・搬出調書等を提出する)　・別途工事)
	17 工事の下請負	受注者は、下請けに付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画・指導及び調整するものであること。 2) 下請負者が青森市の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと。 3) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 受注者は、工事を下請に付する場合には、可能な限り地元建設業者を使用すること。
	18 報告書	1) 施工体制台帳及び施工体系図 本工事を施工するために下請負契約を締結したものは、下請負業者と契約締結後全ての下請契約書の写しを2週間以内に監督職員1部提出する。 また、施工体制台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場表示も併せて行うものとする。 2) 主要機器資材メーカー報告書 本工事に於いて、使用する主要機器資材メーカーリスト1通を監督職員に提出する。 3) 技能士報告書 本章第9項で技能士が適用された場合は、報告書1通を監督職員に提出する。 4) 再資源利用促進計画書・再資源利用計画書及びそれぞれの実施書 工事完了後「建設リサイクルデータ総合システム」(CREDAS入力システム)により、入力したデータを提出する。 尚、データの提出が困難な場合は、監督職員の承諾を得た上で、紙による提出する。 5) 施工計画書及び建設廃棄物等処分計画書 施工計画書には、使用機械器具・各工種の材料・工法・日程等の内容を記載して提出し、監督職員の承諾を受ける。 6) 総合試運転計画書及び報告書
	19 工事の一時中止	1) 工事の一時中止に係る計画の作成 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中に於ける工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。尚、基本計画書には、中止時点に於ける工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料、 及び 建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること、 及び 工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	20 施工図及び完成図等	完成時の提出書類等は下記よる。　(※特記…下記記載の提出図書の部数は参考とし、監督職員の指示により決定のこと) ※ 貸与するCADデータは当該工事に於ける施工図及び竣工図の作成のため以外に使用しないことし、貸与する場合の完成図の提出にあたっては、CADデータにより入力保存したものとする。
	21 試験	標準仕様書に定める試験を行い、試験成績表を監督職員に提出する。
	22 総合調整	各機器の個別運転調整後に下記の総合調整を行い、報告書を監督職員に提出する。 ・風量調整　⊙水量調整　・室内外空気の温湿度測定　・室内気流及びじんあいの測定　・騒音の測定 ・末端水栓の残留塩素濃度の測定　・飲用水の水質測定　・

	提出図書等	部数	備考
※	完成写真 (改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れたもの)	※ 4 部　・　部	
※	工事写真(「青森県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン」による電子納品とする。)	2 部	電子納品CD-Rを提出
※	二つ折り製本	※ 2 部　・　部	
※	A4二つ折り製本	※ 1 部　・　部	
・	黒表紙金文字入(A3二つ折り→A4、学校改修工事は不要)	※ 1 部　・　部	
※	原図	※ 1 部　・　部	
※	CADによるSXF(P21)形式、オリジナル形式、及びPDF形式 (全ての図面及び特記仕様書を1つのPDFファイルにまとめ、DRAWINGFファイルフォルダに格納)	1 部	電子納品CD-Rを提出
※	保全に関する資料(取扱説明書等)	※ 2 部　・　部	
※	機器完成図	※ 2 部　・　部	
※	機器設定値一覧表 (温度、圧力、風量、作動範囲等の設定値及びその設定者等)	※ 2 部　・　部	
※	機器付属品・保守工具等一覧表	※ 2 部　・　部	
※	施工者連絡先一覧表	※ 2 部　・　部	
※	その他、監督職員が指示する書類	監督職員の指示による	

章	項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	23 耐震措置	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(建築大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修)による。 1) 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	耐震安全性の分類 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	耐震安全性の分類 重要機器	耐震安全性の分類 一般機器
上層階・屋上 及び 塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
1階 及び 地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

2) 局部震度法による水槽類(オイルタンクを含む)の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	耐震安全性の分類 特定の施設 重要水槽	特定の施設 一般水槽	耐震安全性の分類 重要水槽	耐震安全性の分類 一般水槽
上層階・屋上 及び 塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階 及び 地下階	1.5	1.0	1.0	0.6

注1) (　)内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
注2) 設置場所の区分は機器を支持している床部分にしたがって適用する。床又は壁に支持される機器は当該階を適用し、天井面より支持(上階床より支持)される機器は支持部材取付床の階(当該階の上階)を適用する。
3) 本施設は (※ 一般の施設　・特定の施設) とする。
4) 地域係数は　1.0　とする。
5) 重量が　100 kg 以下の比較的軽量な機器(標準仕様書の適用を受ける物は除く)の取付けについては、取付け下地を入念に施工し、機器メーカーの指定する方法で確実に取付けを行うものとするが、監督職員の承諾を受ける。
6) 配線・配管及びダクトの支持　※ 標準仕様書及び標準図による　・
7) 重要機器類及び重要水槽類

	24 配管材料及び 配管付属品	1) 配管材料の規格は共通仕様書による(管種は表「配管材料」によるものとし、その他は図示による)弁類の規格(耐圧)は各設備項目の表記による。 2) 特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。 3) 鋼管用伸縮継手の種類　※ ベローズ形 (※ 複式　・単式)　・スリーブ形 4) フレキシブルジョイントの全長　※ 共通仕様書による　・図示による 5) スリーブは、共通仕様書による他、下表による。

スリーブ区分	材質
ピット⇔土間、ピット⇔外部土中への梁・壁貫通	つば付鋼管
地中梁及び多湿ピット内の梁・壁貫通(ピット換気を除く)	硬質塩化ビニル管(VP)

注) つば付鋼管をつば付塩ビ管に変更する場合は図示による。

	25 計器類	1) 温度計　　共通仕様書、標準図による他、図示した箇所に取付ける。(配管用はL形、ダクト用は円形) 2) 瞬間流量計　※ 着脱可能形 (※ 全数　・図示による)　・固定形(止水コック付) 着脱可能形の指示部 (・40A用　個　・100A用　個　・250A　個)を付属する。 3) 積算流量計　　図示の箇所に取付ける。(熱源機器毎) 4) 熱源機器には、個々に地震感知器を付属とする。 5) 圧力計・連成計・水高計及び電流計等の計器類には、正常値を示す赤指針を設ける。
	26 配管施工	1) 図示の箇所に建物導入部配管の変位吸収配管を施工する。尚、施工方法は(※ 図示　・スリークッション)による。 2) 図示の箇所に絶縁継手を取付ける。 3) 呼び径50以下の鋼管のねじ加工は原則として転造ねじ加工とする。但し、樹脂ライニング鋼管のねじ加工は切削ねじ加工とする。 4) 図示の箇所に伸縮継手を取付ける。
	27 支持金物及び 固定金具	1) ポンプ・屋外機器のアンカーボルト・ナット　　及び 屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス(SUS304)製とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ(樹脂製)を取付ける。 2) 振動を伴う機器用支持金物のナットは、ダブルナットとする。 3) 冷水、ブライン 及び冷温水配管の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。 4) 土間配管は、吊りボルトにてスラブより固定する。 5) 蒸気管の横走り管は、図示の箇所に座屈防止用形鋼振れ止め支持を行う。 尚、施工方法は(標準図施工12(b) (・(1)　・(2)　・図示))による。
	28 土工事	1) 配管は下記による。

	埋設深さ(m) 構内一般	構内車路	土工事区分 機械土工	人力土工	埋戻し用土 掘削土	客土	埋設表示 テープ	埋設標		
給 水 管	0.6	0.8	○		○		○	○		
排 水 管	図示による		○		○					
ガ ス 管										
消 火 管										
油　管										

2) 公道部は、水道事業者・下水道事業者・ガス供給事業者及び道路管理者規定による。
3) 設計図書に示された配管工事で掘削深さが 1,500 mm を超える場合は、図示による方法で土留めを行う。
4) 土中埋設配管は、配管下 100 mm ・ 配管上 100 mmを山砂等で埋め戻す。
5) 残土(発生土を含む)処理
※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所に堆積
・構外搬出適正処理 (※ 本工事 (約　km 搬出調書等を提出する) ・別途工事)

	29 貫通部の処理	共通仕様書による他、冷温水管及び蒸気配管の貫通部には、鞘管を入れ隙間を断熱材等で埋める。
	30 保温	1) 建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁(空気抜き弁を含む)までとし、仕様は共通仕様書の冷温水管の項による。 2) 屋外露出給水配管(弁・フランジを含む)は、共通仕様書第2編 表2.3.6 e2(ハ)とし、厚さは呼び径　25 mm 以下は 50 mm、呼び径　32 mm以上は 40 mm　とする。 3) 外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※ 要 (全熱交換器の給気ダクトの全てを含む)　・不要 4) 排気ダクトの外壁開放部より1.0m程度に保温を施す。 5) 冷媒管(冷媒用断熱材被覆銅管)の外装 屋内露出部　※ 化粧ケース (・樹脂製　・SUS製)　・外装なし 屋外架空部　※ 化粧ケース (・樹脂製　・SUS製　・高耐食性鋼板製) 6) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚さは　mm とする。 7) 量水器桝内の保温を(※ 行う　・行わない) 8) 一般居室及び廊下の屋内露出配管に使用する保温外装材の種類　・ 合成樹脂製カバー1(シートタイプ) ⊙ 合成樹脂製カバー2(ジャケットタイプ) 9) 屋外架空部の消火管については給水管に準ずる。 10) 消火用充水槽の保温　※ 施工する　・施工しない 11) 消火配管の保温　屋内消火栓用配管　※ 施工する　・施工しない スプリンクラー用配管　※ 施工する　・施工しない 12) 湯沸器の給排気筒(二重管)の隠蔽部は、保温(h・イ・IX)を行う。 13) 温水暖房でパネルヒーターへの屋内露出管は保温しない。 14) 蒸気管の保温　暖房する室の暖房用蒸気立て管(主管を除く)及び分岐管　※ 施工しない　・施工する 蒸気還り管　※ 施工しない　・施工する 15) 床下暗渠内(ピット内を含む)の保温に使用する着色アルミガラスクロスの外装色の分類は、下表を標準とする。

配管区分	外装色
消 火 管	白系
給 水 管	青系
給 湯 管	黒系
冷水・冷温水管	緑系
温水・蒸気管	赤系

NOTE

工事名称　（仮称）天間西児童センター機械設備工事	縮尺	単位　MM					平成 27 年　6 月　作製
	所　長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	M — 02
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877							

図面名称　機械設備工事特記仕様書(1)

管理建築士　1級建築士登録213185号　工藤博文

1 一般共通事項

項目	特記事項
31 消音内貼り	1）施工箇所は図示によるものとし、内貼りチャンバー類の寸法表示は外形寸法とする。 2）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは図示による。
32 塗装	1）壁面取付の吹出口・吸込口チャンバーの内面(消音内貼りを施したものは除く)は、黒色系の塗装を行う。 2）露出金属電線管は次の部分の塗装を行う　・屋外架空部　・機械室　・屋内一般　・ 3）露出配管は次の部分の塗装を行う　・居室　・便所　・湯沸室　・屋外　・
(33) はつり	既存コンクリート部の床・壁の配管貫通部等の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
(34) あと施工アンカー	※ 接着系アンカー（ 接着剤　※ 有機系　・無機系 ）　・金属拡張系アンカー(本体打込み式)
(35) 表示板	危険物を設置する際に屋外に取付ける表示板は、ステンレス(SUS304)製とする。
36 アスベストの処分等	1）撤去、処分に当たっては、建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)(以下「解仕」という。)第6章「アスベスト含有建材の除去等」及び「石綿障害予防規則(平成17年2月24日 厚生労働省 令第21号)」、その他関係法規に準拠し、適切に施工すること。 2）アスベストを含有する建築設備　※ なし　・あり(下記による)

3）専門工事業者　アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出すること。
4）石綿作業主任者　石綿作業主任者技能講習、又はH18.3以前の特定科学物質等作業主任者の有資格者のうちから選任すること。
5）除去作業者　アスベスト除去作業を行う労働者は、石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者であること。
6）アスベスト含有分析調査　・行う　・行わない　・別途協議（図面にない建材が判明した場合）
7）測定は種類に応じ、下表の通りとする。

アスベスト含有保温材等	測定名	測定時期	測定場所	測定点	備考
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・各2点 ・各3点 ・各 点	(注)
・	測定 2		調査対象室外部付近	計2点	大気
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・各2点 ・各3点 ・各 点	(注)
・	測定 4		負圧・除塵装置の排出吹出口	出口吹出し風速 1 m/sec 以下の位置、各2点	—
・	測定 5		処理作業室外	4方方向、各1点(敷地境界)	—
・	測定 6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	各2点	—
・	測定 7	処理作業後(シート撤去後)一週間以降	処理作業室内	・各2点 ・各3点 ・各 点	(注)
・	測定 8		調査対象室外部付近	計2点	大気
測定室	・				

(注) 各施工箇所ごとの室面積が50m2　以下までは2点　300m2　以下までは3点とし、300m2 を越えるものは100m2 毎に 1 点を追加する。

8）アスベスト含有保温材等の処理等

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
		※　図示　・
		※　図示　・

(37) その他　施工に当たっては、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型建設機械を使用する等、周辺の環境に配慮すること。

2 建設副産物の適正処理

項目	特記事項
1 総則	建設副産物の処理にあたっては「建設副産物適正処理推進要綱」及び「平成18年版:建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説(国土交通省)」によること。又、関係法令等に基づき適当な手続き及び処理をするとともに、再資源化により得られた建設資材の積極的な活用に努めるものとする。
2 契約前の事前説明	(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)第9条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。) 建設リサイクル法　第12条 第1項 の規定による説明(書面の様式については監督職員の指示による)については、落札者は契約前に監督職員に対して行うものとする。落札者は、監督職員への説明時に交付した書面と同じものを契約事務担当職員に提出するものとする。
3 産業廃棄物税	本工事に伴って生じる産業廃棄物のうち、最終処分場(中間処理施設経由を含む)に搬入する産業廃棄物がある場合については、青森県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。尚、本工事に於いて最終処分場(中間処理施設経由を含む)に搬入する産業廃棄物がある場合は、産業廃棄物税相当額を見含んでいるものである。
4 特定建設資材廃棄物の処理	取り壊しにより発生する特定建設資材廃棄物は、以下の再資源化施設での受入れとして積算を行っている。

名称	施設の名称	施設の所在地	備考
コンクリート塊			
アスファルト・コンクリート塊			
建設発生木材			

5 産業廃棄物収集運搬車に係る表示 及び 備え付け	「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」の規定により、運搬車を用いて産業廃棄物の収集又は運搬を行う場合には、自己の産業廃棄物を含め、同法施行規則に定められた事項を車体の両側面に見やすいように表示するとともに、同規則に定められた書面を当該車内に備え付けること。
6 産業廃棄物の適正な処理の確認	産業廃棄物の処理に当ってはマニフェスト(「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第12条第3項に規定する「産業廃棄物管理票」に相当)のA票、B2票、D票及びE票の写しを監督職員に提出すること。 (完成時にE票が提出で着ない場合はD票とし、後からE票を提出すること。)
7 再資源化等の完了の報告	(建設リサイクル法：第9条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。) 法第18条第1項の規定による報告(書面の様式については監督職員の指示による)については、発注者は再資源化等が完了したときは、当該報告を監督職員に対して行うものとする。

3 空気調和・冷房・暖房設備

項目	特記事項
1 設計温湿度	1）外気条件　夏期：温度 30.9℃(DB)、相対湿度 62.5% ／ 冬期：温度 −5.5℃(DB)、相対湿度 74.5% 2）室内条件(調整目標値)は下表による.(その他は図示による)

		系統 温度(DB)	系統 湿度(RH)	系統 温度(DB)	系統 湿度(RH)	系統 温度(DB)	系統 湿度(RH)	系統 温度(DB)	系統 湿度(RH)
設計温湿度	夏期	26.0 ℃	50 %	℃	%	℃	%	℃	%
	冬期	22.0 ℃	40 %	℃	%	℃	%	℃	%
設定温湿度	夏期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
	冬期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%

(注)設定温湿度は、引渡し時の室内条件

3）熱源機器の水温条件

機器	暖房用温水ボイラー			
送水温度	70 ℃	℃	℃	℃
出入口温度差	15 ℃	℃	℃	℃

2 ダクトの区分　低圧とする。(高圧1及び高圧2の部位は図示による)

項目	特記事項
3 長方形ダクトの工法	※ コーナーボルト工法 (※ 共板フランジ工法　・ スライドオンフランジ工法) ・ アングルフランジ工法
4 風量測定口	取付箇所は図示による。(取付け面は監督職員の指示による)
5 防煙ダンパー	1）復帰方式　※ 遠隔式 (電気式、定格入力 DC24V 0.5A 以下) ・ 2）復帰動作　※ 順送り ・同時
6 煙突	※ 別途 ・本工事 (鋼板厚　mm , 高さ　m 以上) とし、図示による
7 煙道	※ 煙道径 300 mm以下は鋼板厚3.2 mmとし、300 mmを超えるものは 4.5 mmとする ・図示による (煙道径が 400mm を超えるものには、掃除口に蝶番を取付ける)
8 弁類	※ JIS 又は JV5K　・JIS 又は JV10K(図示による) 1）冷温水コイル及び蒸気加熱コイル廻り(標準図 施工35・39)の弁は仕切弁とする。 2）冷温水管の呼び径 65A 以上の弁はバタフライ弁とする。
9 緊急遮断弁	オイルサービスタンクに設置する緊急遮断弁は、停電時に閉じるタイプとする。
10 注油口 及び指示ボックス	標準図(機材7)による　・単独形　・共用形 (・ 油量指示計 ・ ローリーアース)
(11) カセット形ファンコイルユニット	カセット形ファンコイルユニットの風量分配ダクト ※ 亜鉛鉄板 ・ 自己消火性のポリスチレンフォーム製 ・
12 温水パネルヒーター	※ 鋼板製 ・ アルミ製 ・
13 電気パネルヒーター	1）ケーシングは便所についてはステンレス製とする。 2）便所に設置する場合は、いたずら防止カバー付とする。

4 換気設備

項目	特記事項
(1) ダクトの区分	低圧とする。
2 長方形ダクトの工法	※ コーナーボルト工法 (※ 共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法) ・アングルフランジ工法
3 風量測定口	・取付ける(取付箇所は図示による。取付け面は監督職員指示による) ・取付けない
4 防煙ダンパー	1）復帰方式　※ 遠隔式 (電気式、定格入力 DC24V 0.5A 以下) ・ 2）復帰動作　※ 順送り ・同時
5 厨房用排気ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ・ステンレス(SUS304)製 板厚　mm
6 厨房用排気フード	1）材質(天幕板とも)　※ ステンレス(SUS304)製 板厚　mm ・ 2）排気フード周囲の天幕(フード下端面から天井面まで)　※ 取付ける ・取付けない 3）フードコック　※ 取付ける ・取付けない
7 多湿箇所の排気ダクト	下記系統の排気ダクトのシールは、標準図(施工45・46)のNシール + Aシール + Bシールとし、水抜き管を設ける。 ・ 厨房 ・ 浴室
(8) 換気扇類	換気扇類は低騒音形以上とし、有圧換気扇は保護ガード付とする。

5 排煙設備

項目	特記事項
1 ダクトの材質	※ 亜鉛鉄板製 ・普通鋼板製 (板厚は 1.6 mm 以上)
2 長方形ダクトの工法	※ アングルフランジ工法(ビッツバーグはぜ) ・
3 排煙口の形状	・可動羽根(スリット共) ・可動パネル ・ダンパー形
4 排煙口開放装置	・ワイヤー式 ・電気式で遠隔操作機能 ・有 ・無)
5 排煙風量測定方法	建築設備定期検査業務基準指導書 ((財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。

6 自動制御設備

項目	特記事項
1 工事区分	※ 本工事 ・電気設備工事
2 中央監視制御	1）中央監視制御装置のシステム構成機能は図示による。 2）表示装置の型式は(※ デスクトップ形 ・ コンパクト形 ・ 壁掛け形)とする。
3 計装工事の配線	屋外架空及び屋内露出の配線は、図面に特記が無い限り配管内配線とする。
4 電線 及び ケーブル	※ EMケーブル ・
5 その他	1）室内温湿度検出器等を2個以上併設する場合は、サーモケースを使用する。 2）電動機用電流計は延長目盛電流計とし、赤指針付きとする。

7 衛生器具設備

項目	特記事項
(1) 衛生器具	※ 節水形(防露機能を有する) ・ 一般形
(2) 身障者用洗浄弁	※ センサー式 ・ タッチスイッチ式 ・ くつべら式押しボタン
(3) 小便器洗浄弁	※ 個別感知式 (※ 壁埋込形 ・ 露出形 ・ 陶器組込形) ・ 押しボタン式
(4) 小便器用節水装置	※ 洗浄水量は 4 L/回とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。
(5) 洋風便器用便座	※ 暖房便座 (・ 洗浄機能付 ・ 乾燥機能付 ・ 脱臭機能付) ・ 普通便座　(洗浄機能付暖房便座には市水を接続する)
(6) 洋風便器用洗浄弁	※ 洋風便器の洗浄水量は、節水Ⅰ型は8.5L/回以下、節水Ⅱ型は6.5L/回以下とする。※ 不凍結節水弁付とする。
7 和風大便器の形状	最下階の床下(ピットを除く)配管に接続する場合　※ 並形 ・フランジ形 その他の場合　※ フランジ形 ・ 並形
8 和風大便器の取付寸法	便房内正面壁から便器先端までの寸法は300mm を標準とする。
9 和風大便器用耐火カバー	1）取付ける.(最下階の床下・ピットを除く) 2）器具接続部の配管は耐火被覆する。
(10) 自動水栓 及び自動洗浄弁	電源供給方法　(※)AC電源 (制御盤及び電源コード等を含む) ・ 乾電池 (・) 自己発電
(11) 注記板	※ 設けない ・ 設ける (※ 陶器製 ・ 樹脂製)　(対象器具は図示による)

8 給水設備

項目	特記事項
1 小形給水ポンプユニット	自動交互並列運転とし、24時間強制ローテーション機能を(※ 付加する ・ 付加しない)
2 水槽	1）FRP製タンクのタンク天板(点検用蓋を含む)を複合板と(※ する ・ しない) 2）タンク接続用配管のフレキシブル継手は合成ゴム製とし、水槽用鋼製架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 3）受水槽からの吐水配管には、給水用緊急遮断弁を(※ 設けない ・ 設ける)
(3) 量水器及び 量水器用桝	量水器：貸与品 ※ / 買取り品 ・ ; 量水器用桝：水道事業者の指定品 ※ / 標準図(機材55) ・ ; 親メーター ; 子メーター ・ / ※

注)樹脂製量水器用桝(寒冷地用)を使用する場合は図示による。

4 不凍水栓柱	化粧ケーシング (※ アルミ合金製 ・ 合成樹脂製)
5 壁埋込形散水栓ボックス	ステンレス製とし、鍵付とする。
(6) 弁類	1）水道直結部分　※ JISB2011・2003 又は JV同等性能品　※ 10 K ・ 5 K 2）その他の部分　※ JISB2011・2003 又は JV同等性能品　・10 K　※ 5 K ・ ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。
(7) 水栓	1）屋内水栓 (※ 節水形寒冷地用固定コマ式 ・ 寒冷地用固定コマ式) 2）屋外水栓 (※ 寒冷地用固定コマ式 ・) 3）湯沸室・台所及び厨房用水栓は、泡沫式と(※ する ・ しない)
(8) その他	給水管の最小口径は 20mm とする。但し、器具接続部分を除く。

9 排水設備

項目	特記事項
(1) インバート桝	※ 樹脂製桝(小口径桝) ・コンクリート製桝 (・国土交通省仕様桝 ・頂部補強を施した市販重ね桝)
(2) ため桝	※ コンクリート製桝 (・国土交通省仕様桝 ・頂部補強を施した市販重ね桝) (・) 樹脂製桝
(3) 樹脂製桝	樹脂製桝(小口径桝)は、プラスチック・マスマンホール協会及び日本下水道協会規格に準ずる。
(4) 雨水桝	雨排水用ため桝は、配管エルボによるトラップ桝とする。
5 グリース阻集器	工場制作品で実用量が 1.0 m3 以下のものは(※ ステンレス鋼板製 ・ FRP製)とし、設置箇所は図示による。
(6) 間接排水	次のものは間接排水とする。　空調機器用ドレン排水管
7 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に取付ける。
(8) 試験	1）排水管は満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後に通水試験を行う。 2）煙試験を(※ 行わない ・行う)
(9) その他	別途工場製作流しのトラップは別途工事とするが、接続は配管(硬質塩化ビニル管でもよい)とし本工事とする。

10 給湯設備

項目	特記事項
1 貯湯槽	※ ステンレス鋼板製 (・ SUS304 ・ SUS304L ・ SUS316 ・ SUS316L ・ SUS444)
(2) 貯湯式電気温水器	週間タイマーを(※ 取付ける (・) 取付けない)　制御盤に節電機能を (・ 組み込む ・ 組み込まない)
(3) 弁類	※ JISB2011・2003 又は JV同等性能品　※ 5 K ・ 10 K
(4) 湯水混合栓	逆止弁機能 (※ 有り ・ なし) とし、(※ シングルレバー式 ・ サーモスタット式 ・ 2バルブ式) とする。
5 湯沸器の排気筒	※ 機器付属品 (SUS304製) ・共通仕様書 (第5編 1・3・8)による。

11 消火設備

項目	特記事項
1 屋内消火栓	形状：壁埋込形 / 露出形 / 天井埋込形　操作：一般形 / 易操作形　併設：消火器箱 / 火災報知器 / 放水口 1号消火栓：・ / ・ / ・ / ・ / ※ / ・ / ※ / ・ 2号消火栓：・ / ・ / ・ / ・ / ・ / ※ / ※ / ・
2 2号消火栓の圧力損失	MPa 以下 (消火栓全体の圧力損失値)
3 屋外消火栓BOX	※ ステンレス製 ・鋼板製
4 弁類	連結送水管に取付ける弁は 16 K とし、その他は (※ JIS10K ・JIS20K)
5 その他	消火栓ポンプ用制御盤(ユニット)には、起動リレーを取付ける。

12 厨房機器設備

項目	特記事項
1 厨房システム	※ ドライシステム ・ ウェットシステム ・ セミドライシステム
2 厨房機器類	図示による.(材質等は共通仕様書による) 但し、記載寸法は標準とする。
3 付属制御盤	機器付属の制御盤は、製造者規格品とする。
4 機器の固定	共通仕様書 (第5編 1.6.1(b)) による他、下記の機器を標準図 (施工74) により固定する。
5 附属品(弁類)	※ JISB2011・2033 又は JV同等性能品　※ 10 K ・ 5 K

13 ガス設備

項目	特記事項
1 ガスメーター	ガス事業者の貸与品。
2 充填容器	貸与品 (※ 50 kg ・ kg 本)
3 集合装置	※ 標準図 (施工72) ・ 図示による
4 容器転倒防止装置	※ 標準図 (施工73) ・ 図示による
5 ガス漏れ警報機	1）図示の箇所に取付ける。(・ 一般形 ・ 分離形) 2）外部出力端子 (・ 有り ・ 無し)
6 緊急遮断弁	※ 取付けない ・ 取付ける(ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による)
7 その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 ガス供給事業者名 ( )

NOTE

工事名称	(仮称)天間西児童センター機械設備工事	縮尺	単位 MM				
		所長	部長	課長	担当	製図	製図
青森県A1の2号	株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877						

平成 27 年　6 月　作製

M — 03

図面名称　機械設備工事特記仕様書(1)

管理建築士　1級建築士登録213185号　工藤博文

章		項 目	特 記 事 項
14 浄化槽設備	1	建築用途	(建築物の用途別による屎尿浄化槽の処理対象人員算定基準による)
	2	処理能力	1) 処理対象人員　　人 2) 放流水のBOD濃度　　mg/L（ BOD除去率　　% 以上 ）
	3	流入負荷	計画汚水量　　m3/日（ 流入汚水のBOD濃度　　mg/L ）
	4	処理方式	昭和 55年建設省告示第1292号の 第1から 第12に定められた方式 あるいは、これと同等以上効力があり、建築基準法第31条第2により国土交通大臣が認めたもの
	5	主要構造	※ ユニット形(FRP製) ・現場施工形（ 躯体は建築工事 ） 設置スペース　約　　(L) ×　　(W)
	6	総電気容量	相 ×　　V ×　　kW
	7	その他	図示による。
15 昇降機設備	1	共通事項	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣監房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編・平成25年版)による。
	2	耐震措置	次の事項以外は 1章23項「耐震措置」による。 1)　「(財)日本建築設備・昇降機センター編集の昇降機耐震設計・施工指針 2014年版」により行う。 2)　耐震安全性分類は（ ・ S 14 ・ A 14 ）とする。 3)　地域係数は（ ・ 0.9 ・ 1.0 ）とする。
	3	管制運転等	・地震時管制運転 ・閉じこめ時リスタート運転 ・緊急地震速報連動運転 ・火災時管制運転 ・自家発時管制運転 ・停電時救出運転 ・ピット冠水時、浸水時管制運転
	4	身体障害者用付加仕様	※ 付加する ・付加しない
16 室内空気汚染対策	1	総則	1）室内空気汚染(ホルムアルデヒド及び揮発有機化合物)対策については、本章の内容を遵守すること。 2）屋内に使用する材料の選定に於いては、ホルムアルデヒド及び揮発製有機化合物を放散しないか、放散が十分に少ないものをJAS又はJIS等を参考に適切に選択すること。原則としてはF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料等がない場合は、施工面積に十分注意した上でF☆☆☆を使用する。
	2	塗装工事	1）塗料は、ホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないもの、又は、含有量が少ないものとする。但し、性能上やむを得ない場合はこの限りでない。 2）使用方法や塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとり、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図ること。
	3	機器類	1）機器類に使用する合板等はホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆のものを基本とし、該当する材料等がない場合は、F☆☆☆とする。
	4	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定	工事完成前に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督職員にに提出すること。又、測定の結果が厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の指針値を超えた場合は、監督職員と協議すること。 1）測定の対象物質　　※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 2）測定対象室・測定箇所数　※ 図示 3）測定方法 イ) 空気の採取　※ 拡散方式(・測定パッチ ・パッシブサンプラー ・パッシブガスチューブ）・吸引方式 ロ) 測定・分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。又は、以下と相関の高い方法によって行うこともできる。 ※ 高速液体クロマトグラフ法(ホルムアルデヒド) ※ ガスクロマトグラフィー質量分析法(揮発性有機化合物)

章	適用	配管種別	新設配管 凡例記号	新設配管材料	配管接続方法	既設配管材料(改修)
18 配管材料	・	蒸気給気管	— S —	※ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・ ・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(黒管Sch40))		
	・	蒸気還管	— SR —	※ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(黒管Sch40)) ・配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・一般配管用ステンレス鋼鋼管(SUS304)		
	・	冷却水往管	— CD —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(PB)		
	・	冷却水還管	—CDR—	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(PB)		
	・	冷水往管	— C —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(PB)		
	・	冷水還管	— CR —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(PB)		
	・	冷媒往管	—R—	※ 断熱材被覆鋼管 ・ ・冷媒用銅管		
	・	冷媒還管	— RR —	※ 断熱材被覆鋼管 ・ ・冷媒用銅管		
	・	温水往管	— H —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・		
	・	温水還管	— HR —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・		
	⊙	冷温水往管	— CH —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・耐熱性ライニング鋼管 ⊙配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・ステンレス鋼管 ・	ねじ接合	
	⊙	冷温水還管	—CHR—	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・耐熱性ライニング鋼管 ⊙配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・ステンレス鋼管 ・	ねじ接合	
	⊙	空調用排水管	— D —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ⊙硬質塩化ビニル管(VP) ・ゴムホース(網入り)	接着接合	
	⊙	膨張管	— E —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ⊙ 配管用炭素鋼鋼管(黒)	ねじ接合	
	⊙	空気抜き管	— AV —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ⊙ 配管用炭素鋼鋼管(黒)	ねじ接合	
	・	油往管	— O —	※ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ・灯油用被覆銅管 ・灯油用銅管 ・		
	・	油還管	— OR —	※ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ・灯油用被覆銅管 ・灯油用銅管 ・		
	・	油通気管	— OV —	※ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ・		
	⊙	市水給水管	— - —	※ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（⊙PB ⊙PD ） ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 （・VB ・VD ） ⊙水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管	ねじ接合 (管端防食継手 冷間接合	
	・	井水 及び 雑用水給水管	— - - —	※ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（・PB ・PD ） ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 （・VB ・VD ） ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管		
	⊙	給湯往管	— | —	※ ステンレス鋼管 ・銅管(M) ・保温付銅管 ⊙耐熱性ライニング鋼管 ・架橋ポリエチレン管(被覆付き)		
	・	給湯還管	— | | —	※ ステンレス鋼管 ・銅管(M) ・保温付銅管 ・耐熱性ライニング鋼管 ・		
	⊙	汚水排水管	—(—	※ 耐火二層管 （・天井内,パイプシャフト内及び空隙壁中 ・ ） ㊟硬質塩化ビニル管(VP) （※ 最下階の床下,ピット内 ・ ） ※ 排水用鉛管(器具接続部) ・排水用塩化ビニルライニング鋼管（※ 露出配管 ・ ） ・排水用鋳鉄管(メカニカル形) ・硬質塩化ビニルリサイクル三層管(RF-VP) ・	接着接合	
	⊙	雑排水管	———	※ 耐火二層管 （・天井内,パイプシャフト内及び空隙壁中 ・ ） ㊟硬質塩化ビニル管(VP) （※ 最下階の床下,ピット内 ・ ） ・排水用鉛管 ・排水用塩化ビニルライニング鋼管（※ 露出配管 ・ ） ・配管用炭素鋼鋼管(白管) ・硬質塩化ビニルリサイクル三層管(RF-VP) ・	接着接合	
	⊙	雨水排水管	— RD —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ステンレス鋼管 ⊙硬質塩化ビニル管(床下及び埋設) ・外面被覆鋼管(SGP-VS)	接着接合	
	⊙	排水通気管	— V —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ⊙硬質塩化ビニル管(VP) ・硬質塩化ビニルリサイクル三層管(RF-VP) ・	接着接合	
	⊙	屋外排水管	———	※ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU) ㊟硬質塩化ビニル管（㊟VU ・ VP ） ・配管用炭素鋼鋼管(白管) ・遠心力鉄筋コンクリート管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) ・硬質塩化ビニルリサイクル三層管(RF-VP) ・	接着接合	
	・	消火栓管	— X —	※ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40) ・消火用外面被覆鋼管(VS) ・		
	・	連結送水管	— XS —	※ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(白管Sch40)) ・配管用炭素鋼鋼管(白管)		
	・	連結散水管	— XB —	※ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(白管Sch40)) ・配管用炭素鋼鋼管(白管)		
	・	スプリンクラー管	— SP —	・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(白管Sch40)) ※ 配管用炭素鋼鋼管(白管)		
	・	二酸化炭素消火管	—CO2—	※ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(白管Sch40)) ・		
	・	ガス管	— G —	※ ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ・配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ガス用ポリエチレン管 ・		
	・	液化石油ガス管	— PG —	※ ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ・配管用炭素鋼鋼管(白管) ・ガス用ポリエチレン管 ・		
	・	ブライン往管	— B —	・配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・		
	・	ブライン還管	— BR —	・配管用炭素鋼鋼管(黒管) ・		
	⊙	OA・EAダクト	═══	⊙ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ ・ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ(ｽﾃﾝﾚｽ製) ⊙アルミフレキシブルダクト ・亜鉛鉄板製 ・50φ～小口径フレキシブルﾀﾞｸﾄ(断熱材付)…ﾀﾞｸﾄ材質PVC		
	⊙	排気ダクト	═══	⊙ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ ・ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ(ｽﾃﾝﾚｽ製) ・アルミフレキシブルダクト ・亜鉛鉄板製 ・硬質塩化ビニル管		
	⊙	採熱用Uチューブ		製造者指定品		
	・					
	・					
	・					
	・					

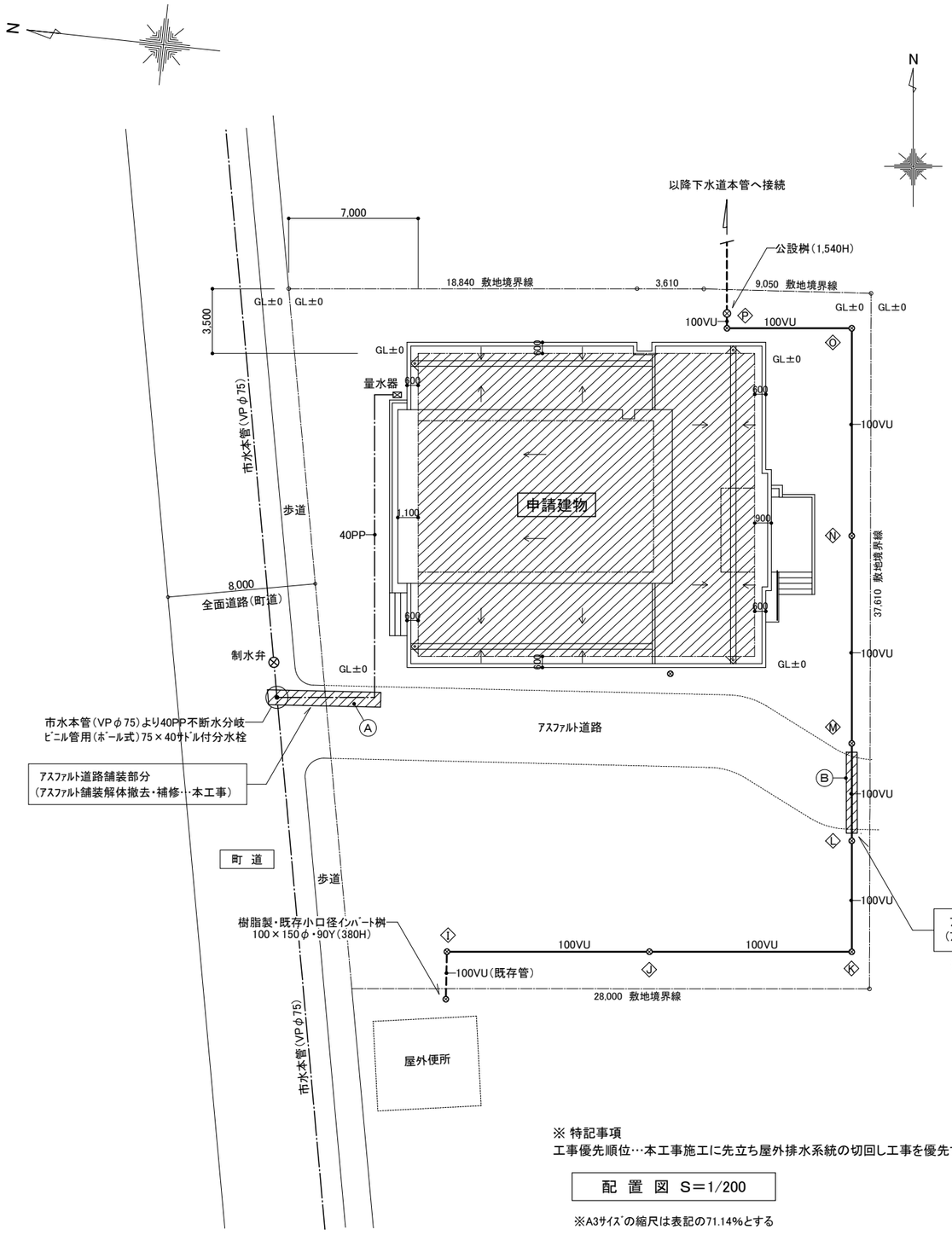
章	項 目	内 容	対象工事区分 建	強	弱	空	衛	昇	別	備考
19 工事取合い区分	一 般	構造躯体(RC造)の貫通スリーブ又は箱入れ	※	※	※	※	※	・	・	
		同上スリーブ及び箱入れ躯体補強	※	・	・	・	・	・	・	
		同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	※	※	※	※	※	・	・	
		ダクト及び配管等の防水貫通部補修	※	・	・	・	・	・	・	
		構造躯体(S造、SRC造)の鉄骨スリーブ及び補強	※	・	・	・	・	・	・	
		コンクリート槽類(防水、仕上げ、断熱、マンホール、タラップ等)	※	・	・	・	・	・	・	
		設備機器設置に対する躯体補強及び基礎(仕上げ含む)	※	・	・	・	・	・	・	
		設備機器設置のアンカー取付及び補修	※	※	※	※	※	・	・	
		壁、天井の吹出口、吹込口、換気扇等の開口及び補強	※	・	・	・	・	・	・	
		壁、天井の照明器具、配線器具、盤等等の開口及び補強	※	・	・	・	・	・	・	
		同上取付用アンカーボルト、金具類の取付	・	※	※	※	※	・	・	
		各設備の為の床、壁、天井の点検口及び点検扉	※	・	・	・	・	・	・	
	建 具	外壁取付ガラリー及びサッシー体形ガラリー	※	・	・	・	・	・	・	
		隠蔽ファンコイルユニット用化粧カバー	※	・	・	・	・	・	・	
		隠蔽ファンコイルユニット用吹出口	・	・	・	※	・	・	・	
	建物内の排水	機械室、電気室のトレンチ、ピット及び蓋	※	・	・	・	・	・	・	
	流し台等	厨房機器、実験台、調理実習台への各種配管接続	・	・	※	※	※	・	・	
		レンジフード及び接続ダクト	・	・	・	※	・	・	・	
		コンクリート流し台等	※	・	・	・	・	・	・	
		同上流し用排水金具	・	・	・	・	※	・	・	
	外 構 等	縦樋配管及び第一桝への配管接続	・	・	・	・	※	・	・	
		化粧用マンホール、化粧用ハンドホールの充填及び仕上げ	※	・	・	・	・	・	・	
		屋外配管配線用のトレンチ及び蓋	※	・	・	・	・	・	・	
	発電機、熱源機器等	煙突工事一式、オイルタンク(サービスタンクを含む)用の防油堤	※	・	・	・	・	・	・	
		煙突に接続する煙導工事	・	※	※	※	※	・	・	
	消 火	壁埋込形の消火器収納箱(遠付)	※	・	・	・	・	・	・	
		壁埋込形及び露出形の消火器収納箱(既製品)	・	・	・	・	※	・	・	
		消火栓箱の電気設備工事用穴あけ補強	・	・	※	・	・	・	・	
		送水口壁面取付部及び消火栓箱開口、開口補強及び仕上げ補修	※	・	・	・	・	・	・	
	防 災	防煙ダンパー、連動装置(作動調整共)	・	・	※	※	・	・	・	
		熱、煙感連動建具及び防煙垂壁の連動装置、手動操作函(作動調整共)	※	・	・	・	・	・	・	
		熱、煙感知器及び連動装置までの配管配線工事	・	・	※	・	・	・	・	
		防煙盤より連動装置までの配管配線工事	・	・	※	・	・	・	・	
		電動シャッター、自動ドアの制御、盤、二次側配管配線工事	※	・	・	・	・	・	・	
		同上用の一次側電源供給	・	※	・	・	・	・	・	
	昇降機	昇降路内仮足場	・	・	・	・	・	※	・	
		機械室トロリービーム及びフックの設置	※	・	・	・	・	・	・	
		昇降機設備にかかる構造躯体の開口、補強及び補修	※	・	・	・	・	・	・	
		機械室の床補強	※	・	・	・	・	・	・	
		機械室床配管後のシンダーコンクリート打設工事及び仕上工事	※	・	・	・	・	・	・	
		機械室内の換気設備	・	・	・	※	・	・	・	
		機械室の照明設備及び点検用コンセント設備	・	※	・	・	・	・	・	
		漏油流出防止堰	※	・	・	・	・	・	・	
		昇降路内中間ビームの取付	・	・	・	・	・	※	・	
		出入口三方枠取付け用下地鋼材設置	※	・	・	・	・	・	・	
		三方枠取付け後の枠廻り埋戻し	※	・	・	・	・	・	・	
		乗場関係機器取付け後の出入口廻りの壁ならび床の仕上工事	※	・	・	・	・	・	・	
		ピット内埋戻し工事及び防水工事	※	・	・	・	・	・	・	
		昇降路内の煙感知器設置工事	・	・	※	・	・	・	・	
		ピット内点検用コンセント設備	・	※	・	・	・	・	・	
		電源盤以後の二次側配管配線工事	・	・	・	・	・	※	・	
		昇降路内放送用の配管配線工事	・	・	・	・	・	※	・	
		館内放送用、インターホン用、監視信号線の配管配線工事	・	・	※	・	・	・	・	
		電源、接地線の受電盤一次端子までの配管配線及び接続工事	・	※	・	・	・	・	・	
	機器等	機器付属の制御盤及び操作盤までの一次側配管配線工事	・	※	・	・	・	・	・	
		機器付属の制御盤及び操作盤以降の二次側配管配線工事	・	・	・	※	※	・	・	
		燃焼機器付属の地震感知器の配管配線工事	・	・	・	※	・	・	・	
		ガス漏れ警報器から遮断弁までの配管配線工事	・	・	※	・	・	・	・	
		各水槽の電極棒(保持器共)、フロートスイッチ		・	・	・	※			
		各水槽の電極棒(保持器共)、フロートスイッチへの配管配線工事	・	※	・	・	※	・	・	
		隠蔽ファンコイルユニット用化粧カバー及び吹出口	・	・	・	※	・	・	・	
		各機器及び盤類までの接地線の配線及び接続工事	・	※	・	・	・	・	・	
		電動シャッター、自動ドアの制御盤以降の二次側配管配線工事	※	・	・	・	・	・	・	
		同上用の一次側電源供給	・	※	・	・	・	・	・	
	室内空気汚染対策	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定	※	・	・	・	・	・	・	
	負担金等	仮設用の上下水道、ガス、電気、通信等の加入金、負担金	※	※	※	※	※	※	・	
		仮設用の上下水道、ガス、電気、通信等に要する費用	※	※	※	※	※	※	・	
		本受電後の引渡しまでの電気料金(基本料金含む)	※	※	※	※	※	※	・	
		本設上下水道、ガスの引渡しまでの使用料金(基本料金を含む)	※	※	※	※	※	※	・	
		本設通信等の引渡しまでの使用料金(基本料金を含む)	※	※	※	※	※	※	・	
		上下水道、ガス、電気、通信等の加入金、負担金	・	・	・	・	・	・	※	
		埋設文化財等の地中障害物調査、撤去、処分	・	・	・	・	・	・	※	
		電波障害調査対策費	・	・	・	・	・	・	※	

工事区分 凡例

建 — 建築工事　　強 — 電気設備工事(強電)　　弱 — 電気設備工事(弱電)　　空 — 機械設備工事(空調・暖房)　　衛 — 機械設備工事(衛生)　　昇 — エレベータ設備工事　　別 — 別途工事

NOTE

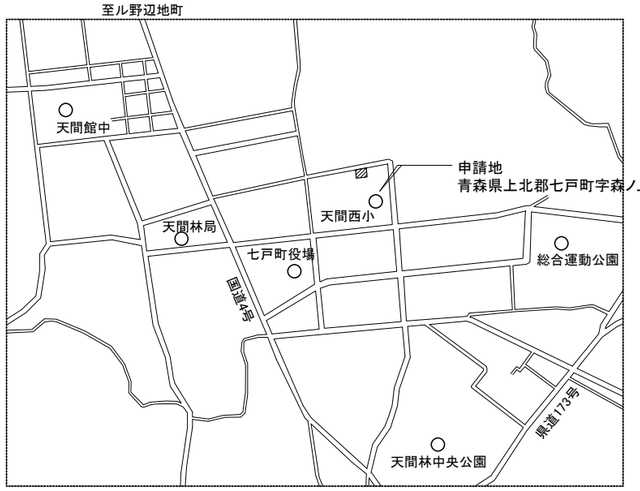
工事名称 (仮称)天間西児童センター機械設備工事	縮尺	単位 MM						平成27年 6月 作製	図面名称 機械設備工事特記仕様書(1)
	所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図		M — 04	
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877									管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文



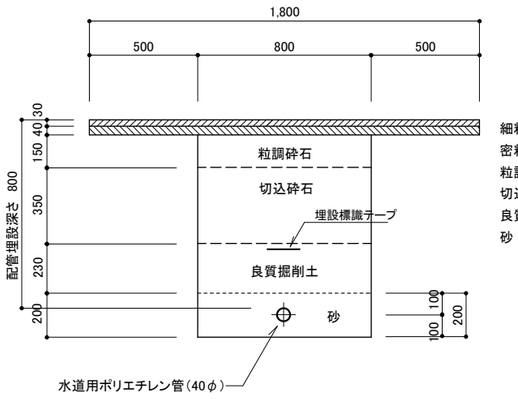
※ 特記事項
工事優先順位…本工事施工に先立ち屋外排水系統の切回し工事を優先する。

配 置 図 S=1/200

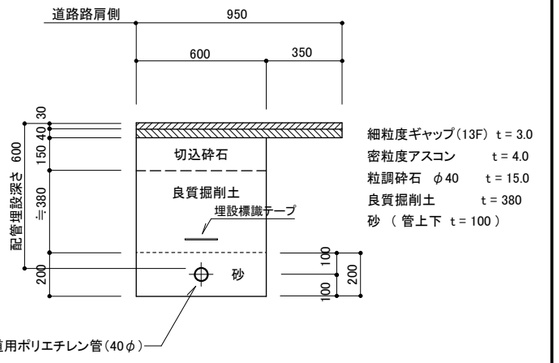
※A3ｻｲｽﾞの縮尺は表記の71.14%とする



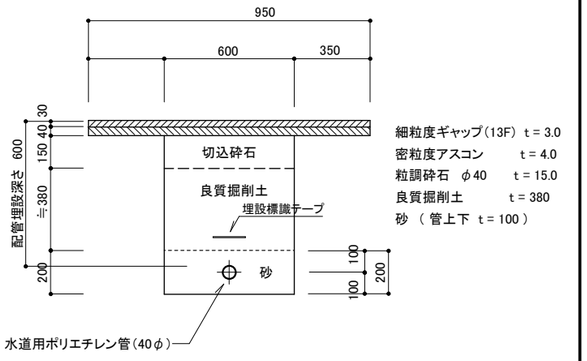
付 近 見 取 図



町道道路 掘削・復旧 参考図



A 構内道路 掘削・復旧 参考図



B 構内道路 掘削・復旧 参考図

※工事区分…屋外排水管切回し工事

アスファルト道路横断部
(アスファルト舗装解体撤去・補修…本工事)

建 築 概 要

工事名	(仮称)天間西児童センター建築工事
工事場所	青森県上北郡七戸町字森ノ上180-7
用途地域	無し
防火地域	無し
主要用途	児童福祉施設
敷地面積	1,124.83 m2
最高高さ	7.449 m
最高軒高	7.272 m
設備計画	電気・給排水衛生
備 考	

面積表 単位 : m2

	構 造	1 階 床面積	延べ面積 計	建築面積
児童福祉施設	木 造	289.83	289.83	299.69
合 計		289.83	289.83	299.69

NOTE

工事名称 (仮称)天間西児童センター機械設備工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/200・A3ｻｲｽﾞ 1/280 単位 MM

所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図

平成27年 6 月 作製

M — 05

図面名称 案内図・配置図

管理建築士 1級建築士登録213185号 工 藤 博 文

衛生器具設備表

器具名称	器具明細	参考器具記号 LIXIL	参考器具記号 TOTO機器	器具計	児童男子便所	児童女子便所	多目的便所	前室-1	前室-2	事務室	水呑み靴洗い
腰掛便器	ｼｬﾜｰﾄｲﾚｰ体型便器(手洗無) 床給水ﾀﾝｸ用ｾｯﾄ金物、床ﾌﾗﾝｼﾞ 棚付2連式紙巻器、他付属品一式付	BC-Z10SU DT-Z150UNQS CW-KA21QV , CF-AA64	CS 230B SH 230BA , TCF 4711AK YH 60N	1	1						
腰掛便器	ｼｬﾜｰﾄｲﾚｰ体型便器(手洗有) 床給水ﾀﾝｸ用ｾｯﾄ金物、床ﾌﾗﾝｼﾞ 棚付2連式紙巻器、他付属品一式付	BC-Z10SU DT-Z180UNQS CW-KA21QV , CF-AA64	CS 230B SH 231BA , TCF 4711AK YH 60N	2		2					
車椅子用 便器	腰掛式ﾀﾝｸ密結形ｻｲﾎﾝ防露便器(手洗無) 防露式蜜結形ロータンク(床給水)用セット金具 大型壁付リモコン(電池式)、分岐金具 棚付ニ連紙巻器,他付属品一式付	BC-220SK DT-K250N CW-PA11FQC-NECK , CF-008-1 CF-AA64	CS 20AB SH 30BA TCF 4721AMV86W , TCA53 YH 60N	1			1				
壁掛ｽﾄｰﾙ小便器	ｾﾝｻｰ一体形(低ﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ)、自己発電又は乾電池式 塩ビ排水管用、他付属品一式付	U-A51MP	UFS 900 W	1	1						
壁付手洗器	自動水栓(自己発電)・壁給水・壁排水 ﾄﾗｯﾌﾟｶﾊﾞｰ(短)、他付属品一式付	L-A74UMC A-5303W	LSE 40BAPS	1	1						
洗面器	カウンター一体形洗面器 自動単水栓(自己発電) 壁排水Pﾄﾗｯﾌﾟ、他付属品一式付	L-275AN AM-200C LF-105PA , SF-10E , KF-30DN	L 270D TEN 40AW T6BMP , TL 220D	1			1				
多目的流し	小型多目的流し 横水栓 排水Pﾄﾗｯﾌﾟ、他付属品付	S-17 LF-7R-13-U SF-25PA,SF-10E	SK-500 T-200SNR13C T6PMR,TL220D	1				1			
ベビーシート	収納式コンパクト形 固定金具、他付属品一式	KFA-23 KF-D17(1P)	YKA 25 YPH 62013×4	1			1				
腰掛便器用手すり	はね上げ式(700L)ロック付, 樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ 固定金具、他付属品一式	KF-471EH70 KF-D19	T 112HK8 T 110D25	1			1				
多用途用手すり	L型(700L)、樹脂被覆ﾀｲﾌﾟ 固定金具、他付属品一式	KF-920AE70D12 KF-D16	T 112CL10 T 110D16 , T 110D34	1			1				
トイレ用擬音装置	ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ式・露出形(乾電池タイプ)	KS-602	YES 400DR	2		2					
化粧鏡	耐食鏡 457 × 1000 固定金具、他付属品一式	KF-4510 A	YM 4510 FA	1			1				
タオル掛け	ﾌﾞﾗｹｯﾄ(樹脂製)、ﾊﾞｰ(ｱﾙﾐ) 400mm程度 固定金具、他付属品一式	KF-AA71P	YT 500 S4	4	1	2	1				
給水栓	洗濯機用 緊急止水弁付単水栓 (寒冷地対応品)	LF-HN 38RQ-U	TW 11GRF	1					1		
給水栓	吐水口回転式横水栓-13A (寒冷地対応品)	LF-7R-13-U	T200 SUN13C	4					4		
湯水混合栓	台所用 壁付シングルレバー混合水栓 (寒冷地対応品)	SF-HE433SN	TKGG 30 ECZ	1						1	
給水栓	吸気弁付耐寒万能ﾎｰﾑ水栓-13A ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ	KTL-25 (竹村製作所)		2							2
EHW-1 電気温水器 (先止め式)	貯湯式(流し台設置用)・水道直圧式 ﾋｰﾀｰ容量 AC100V-450 W (参考) ﾀﾝｸ容量 13.0 L, 沸き上がり温度 約 60 ℃以上 排水器具、ﾌｨﾙﾀｰ付止水栓、減圧弁ｾｯﾄ、固定金具 給水ﾌﾚｷﾎｰｽ、排水用ﾎｰｽ、他付属品一式	EHPN - H13V1 ELF - 3EK EFH - 4MK, EFH - KK1	REW 12A1BH RHE 98H50N, TH 651 RHE 707 , TL347C1R	1						1	

※ 特記事項 (1) 衛生器具記号番号は、参考品番とする。
(2) 製造社名記載は、参考社名とする。

汚水インバート桝 リスト表

記号	名称	主管-管径	桝深さ	桝蓋	桝形式	個数	備考
A	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	350 H	塩ビ製蓋付	90° L	1	勾配 2/100
B	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	380 H	〃	90° Y	1	〃
C	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	400 H	〃	90° Y	1	〃
D	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	430 H	〃	90° Y	1	〃
E	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	440 H	〃	90° Y	1	〃
F	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	500 H	〃	90° L	1	〃
G	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	510 H	〃	90° L	1	〃
H	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	520H /1,530H	〃	90° DRW	1	〃
I	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	430 H	〃	90° L	1	〃 切回し工事用
J	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	650 H	〃	ST	1	〃 切回し工事用
K	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	870 H	〃	90° L	1	〃 切回し工事用
L	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	990 H	〃	ST	1	〃 切回し工事用
M	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	1,100 H	〃	ST	1	〃 切回し工事用
N	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	1,320 H	〃	ST	1	〃 切回し工事用
O	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	1,420 H	〃	90° L	1	〃 切回し工事用
P	小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	100φ×150φ	1,530 H	〃	90° Y	1	〃 切回し工事用

※ 特記事項 1) 桝深さ寸法については、現場施工時敷地高低差等考慮し調整の事。 3) 桝蓋は、クサリ付(SUS-304)とする。
2) 小口径桝立ち上り管は、硬質塩化ビニル管(VU)使用の事。

雨水排水桝 リスト表

記号	名称	種類	桝径	管底深さ	管底+泥溜り	桝蓋	個数	備考
1	雨水桝	樹脂製桝	300φ	300 H	450 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150
2	雨水桝	樹脂製桝	300φ	350 H	500 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150
3	雨水桝	樹脂製桝	300φ	400 H	550 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150
4	雨水桝	樹脂製桝	300φ	300 H	450 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150
5	雨水桝	樹脂製桝	300φ	330 H	480 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150
6	雨水桝	樹脂製桝	300φ	300 H	450 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150
7	雨水桝	樹脂製桝	300φ	400 H	550 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150
8	雨水桝	樹脂製桝	300φ	300 H	450 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150
9	雨水桝	樹脂製桝	300φ	450 H	600 H	塩ビ製蓋付	1	泥溜り H = 150

※ 特記事項 1) 桝深さ寸法については、現場施工時敷地高低差等考慮し調整の事。
2) 配管勾配 1/150

不凍水抜栓 仕様表

器具名称	参考品番	器具仕様 ・ 付属品	設置個数	備考
不凍水抜栓	MT-2-20060GP	MT型 20A×600L(GPｼﾓｸ付) U一D 型 床用開閉器	1	児童男子便所 系統 (取付-前室1)
不凍水抜栓	MT-2-20060GP	MT型 20A×600L(GPｼﾓｸ付) U一D 型 床用開閉器	1	児童女子便所 系統 (取付-前室1)
不凍水抜栓	MT-2-20060GP	MT型 20A×600L(GPｼﾓｸ付) U一D 型 床用開閉器	1	多目的便所 系統 (取付-前室2)
不凍水抜栓	MT-2-20060GP	MT型 20A×600L(GPｼﾓｸ付) U一D 型 床用開閉器	1	事務室流し 系統 (取付-事務室内)
不凍水抜栓	MT-2-25060GP	MT型 25A×600L(GPｼﾓｸ付) U一D 型 床用開閉器	1	掃除流し、洗濯流し 系統 (取付-前室2)
不凍水抜栓	MT-2-20060GP	MT型 20A×400L(GPｼﾓｸ付) 水抜栓きょう[200A(VU)B-1] (H=550)	1	水呑・靴洗い 系統 (取付-屋外)

NOTE

工事名称 (仮称)天間西児童センター機械設備工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/100・A3ｻｲｽﾞ 1/140 単位 MM

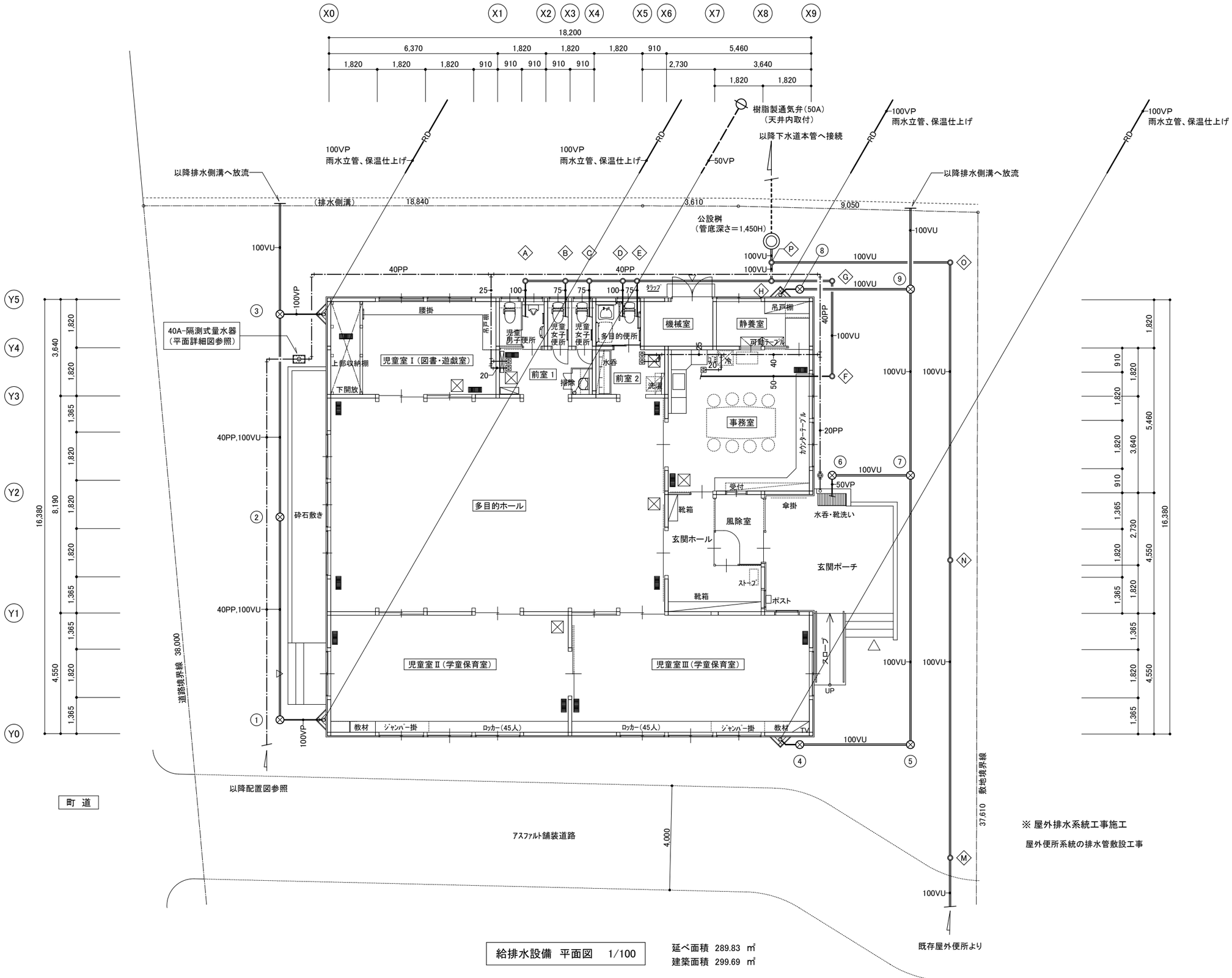
所長	部長	課長	担当	製図	製図

平成27年 6月 作製

M — 06

図面名称 給排水設備 衛生器具表・桝リスト表

管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文



※ 屋外排水系統工事施工

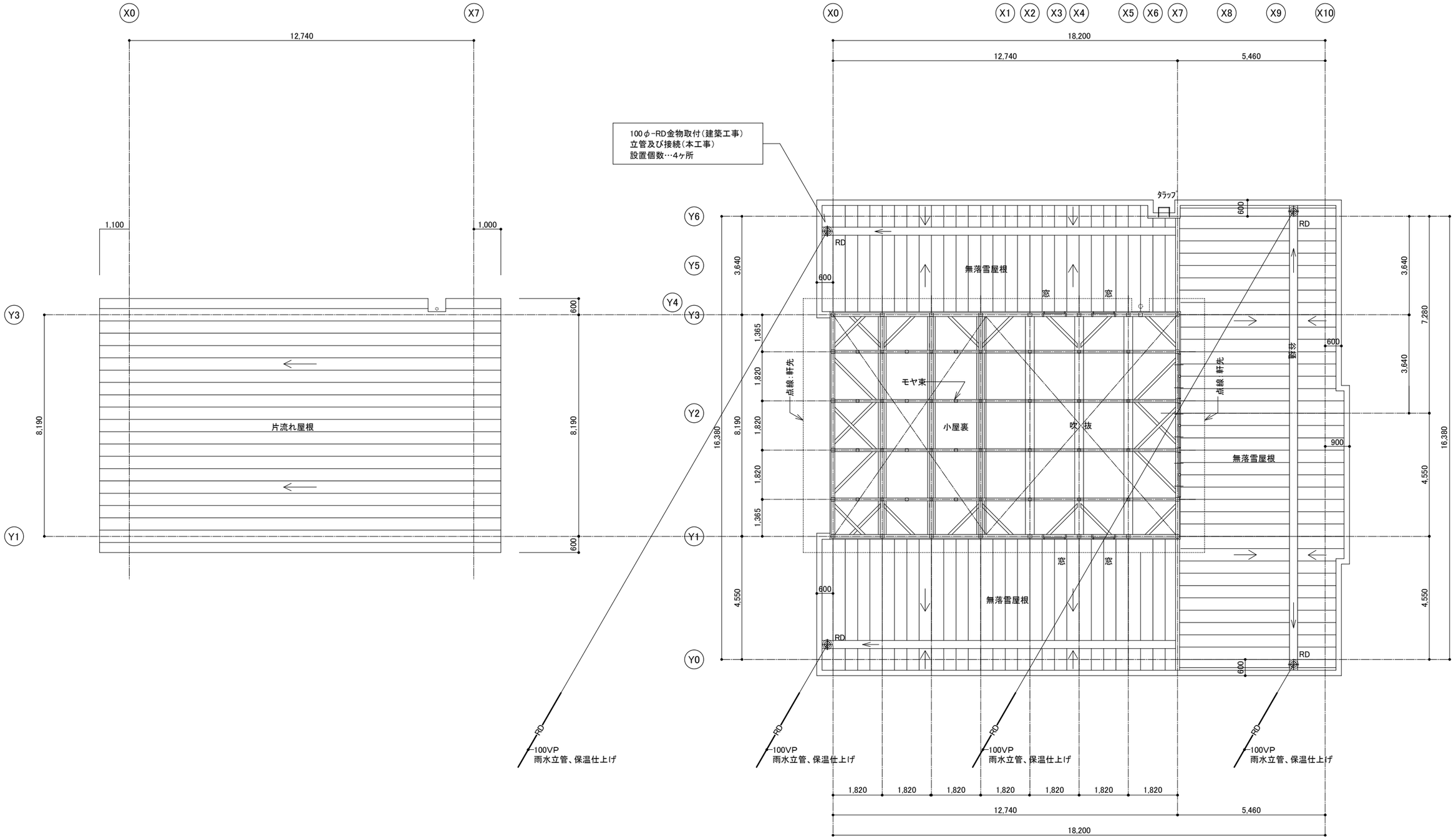
屋外便所系統の排水管敷設工事

給排水設備　平面図　1/100

延べ面積　289.83 ㎡
建築面積　299.69 ㎡

NOTE

工事名称　（仮称）天間西児童センター機械設備工事	縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/100・A3ｻｲｽﾞ 1/140　単位 MM						平成 27 年　6 月　作製	図面名称　給排水設備　平面図
	所長	部長	課長	担当	製図	製図	M — 07	
青森県A1の2号　株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877								管理建築士　1級建築士登録213185号　工藤博文

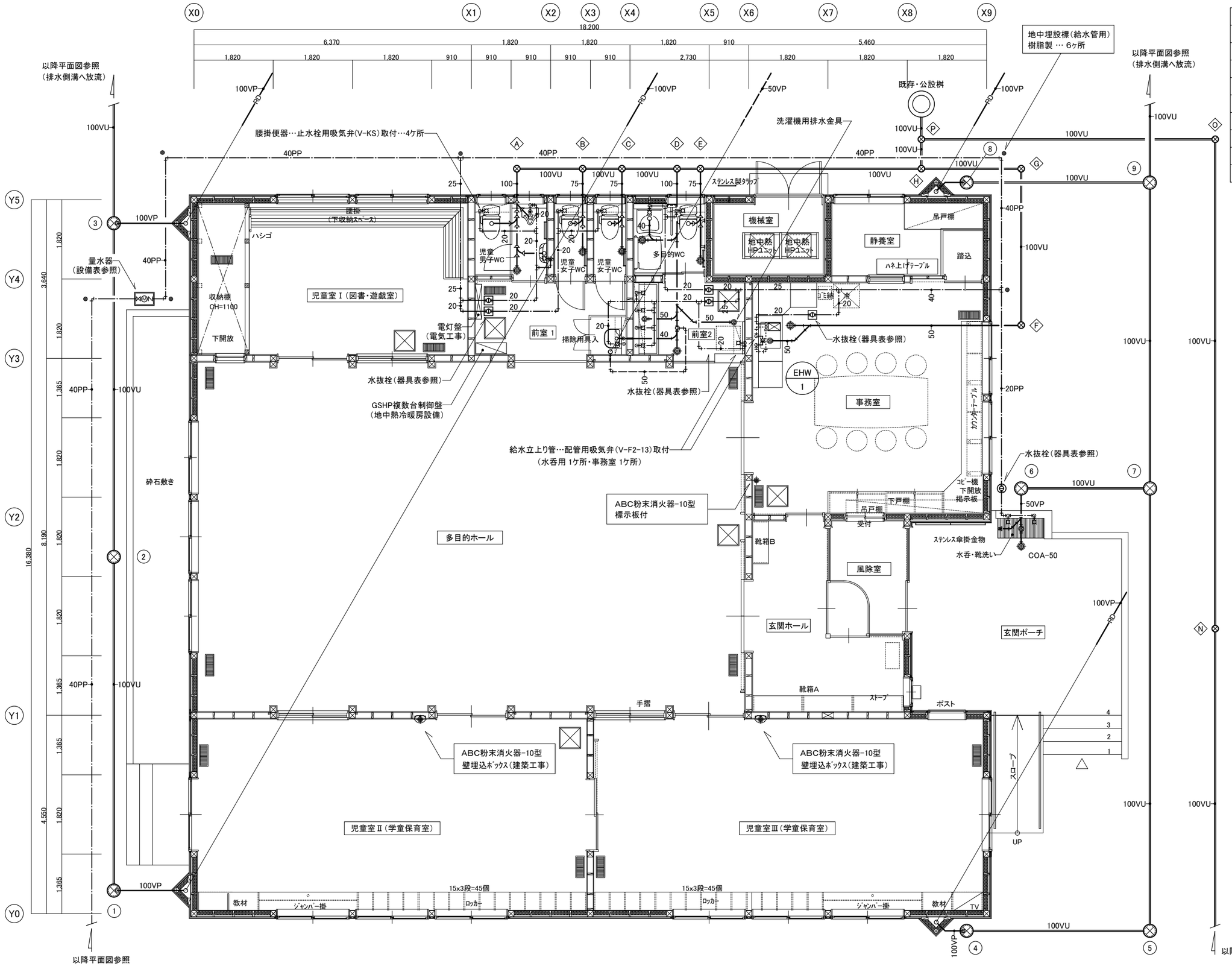


屋根伏図 1/100

給排水設備 屋根伏図・吹抜 1/100

NOTE

工事名称 (仮称)天間西児童センター機械設備工事	縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/100・A3ｻｲｽﾞ 1/140 単位 MM						平成27年 6月 作製	図面名称 給排水設備 屋根伏図
	所長	部長	課長	担当	製図	製図	M — 08	
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877								管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文



排水器具 設備表

設置室名	器具名称	器具仕様	個 数
児童男子便所	床上掃除口	COA-100	1
児童女子便所	床上掃除口	COA-80	2
多目的便所	床上掃除口	COA-80	1
	床上掃除口	COA-40	1
前室-2	床上掃除口	COA-100	1
	洗濯機用排水ﾄﾗｯﾌﾟ	50A(ﾌﾗｯﾄ形)	1
	流し排水ﾄﾗｯﾌﾟ	50-T14AA	1
事務室	床上掃除口	COA-50	1

※洗濯機排水ﾄﾗｯﾌﾟ参考品番…MB44KF-50(ミヤコ)

量水器 設備表

量 水 器	40A-隔測式（借入品）
同上ﾎﾞｯｸｽ	FRP製 （耐寒型）
止 水 栓	40A-乙形ﾎﾞｰﾙ止水栓
逆 止 栓	40A

※ 七戸町水道供給規定に準ずる。

水呑・靴洗い 設備表

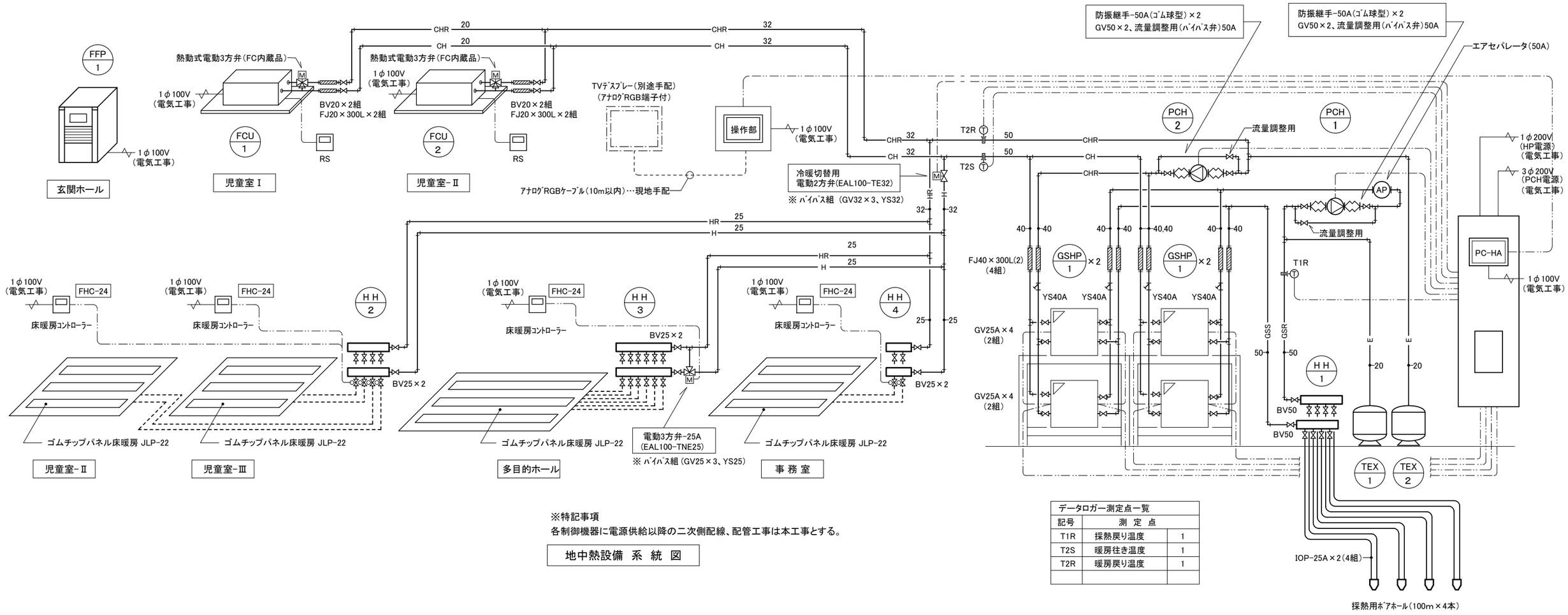
給 水 栓	別紙器具表参照
排水共栓	SNA-50A
排水目皿	D-40A （ﾌﾞﾛｰ用）
	※ 排水目皿 → 槽側面に取付

NOTE

工事名称 （仮称）天間西児童センター機械設備工事	縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/60 A3ｻｲｽﾞ 1/85 単位 MM						平成27年 6月 作製
	所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877							M — 09

図面名称 給排水設備 平面詳細図

管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文



※特記事項
各制御機器に電源供給以降の二次側配線、配管工事は本工事とする。

地中熱設備 系 統 図

データロガー測定点一覧		
記号	測 定 点	
T1R	採熱戻り温度	1
T2S	暖房往き温度	1
T2R	暖房戻り温度	1

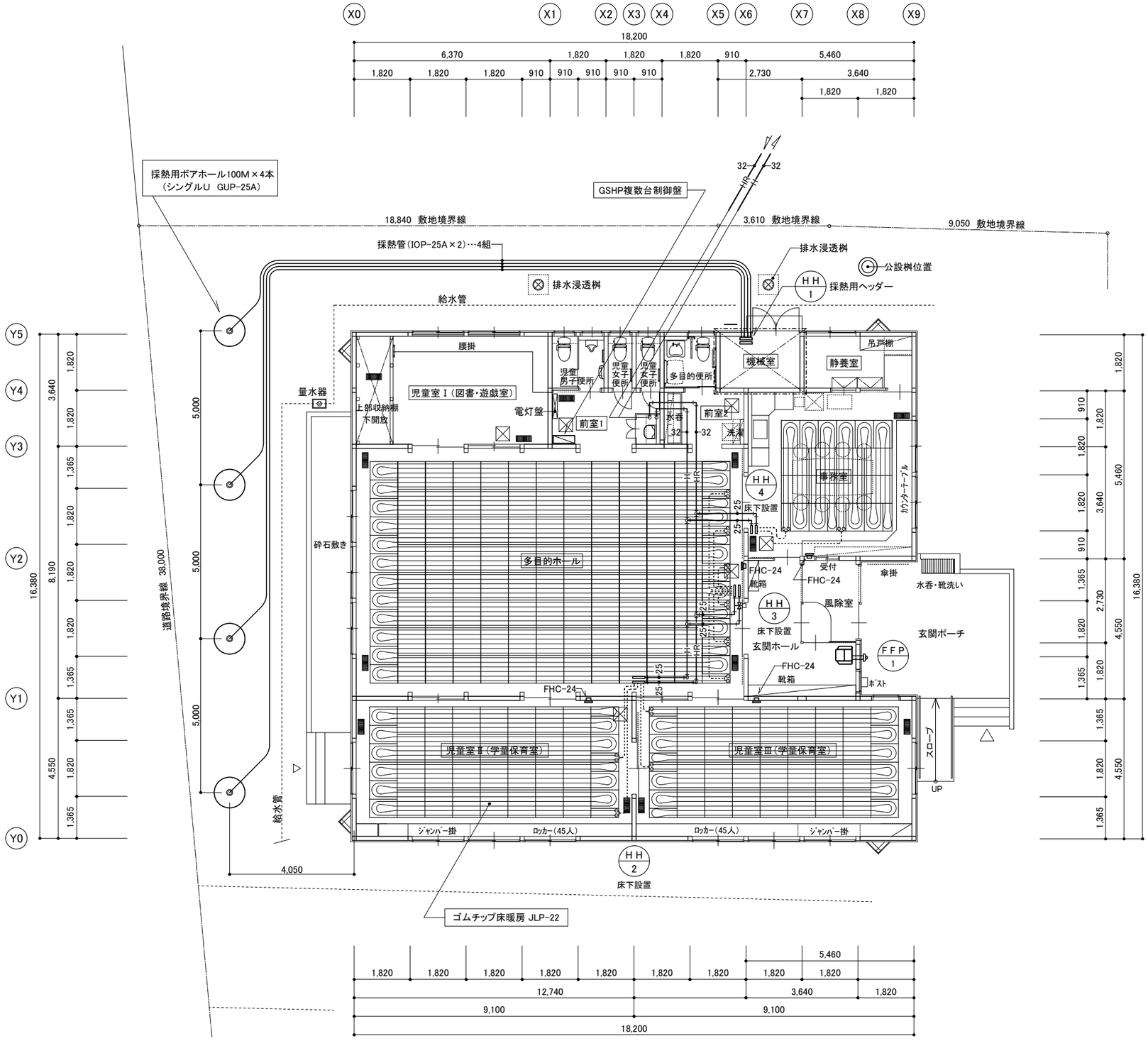
記 号	名 称	仕 様	電 源	備 考	台数
GSHP-1	地中熱HPユニット	仕 様 屋内外兼用 付属品 冷房能力 : 10.0 KW 暖房能力 : 10.0 KW 鋼製架台(溶融亜鉛めっき塗装品) その他標準付属品一式	1φ-200V-3.13W	機械室 GSHP-1002UR	4
TEX-1	密閉式膨張タンク (採熱側)	仕 様 密閉式隔膜式(空調用) 最高使用圧力 0.2MPa未満 容 量 ﾀﾝｸ総容量 50 L ・ 最大吸収容量 35 L 付属品 安全弁, 他標準付属品一式		機械室 NG-50	1
TEX-2	密閉式膨張タンク (二次側)	仕 様 密閉式隔膜式(給湯用) 最高使用圧力 0.8MPa 容 量 ﾀﾝｸ総容量 25 L ・ 最大吸収容量 18.5 L 付属品 安全弁, 他標準付属品一式		機械室 DE-25	1
PCH-1	循環ポンプ (採熱側)	仕 様 ステンレス製ライン形 能 力 25φ × 70 L/min × 11 m 付属品 標準付属品一式	3φ-200V-0.4KW	機械室 PSS2-255-0.4T	1
PCH-2	循環ポンプ (二次側)	仕 様 ステンレス製ライン形 能 力 32φ × 100 L/min × 15 m 付属品 標準付属品一式	3φ-200V-0.75KW	機械室 PSS-325-0.75	1
FFP－1	ペレットストーブ	仕 様 強制給排気式(FF式)・強制対流式 暖房能力 3.0 ～ 7.0 kW (2,580 ～ 6,020 Kcal/h) 燃料消費 ホワイト・全木 0.83 ～ 1.70 kg/h 付属品 100φ － 給排気筒セット, 固定金具, 他付属品一式	1φ-100V-183W (燃焼時 54 W)	玄関ホール FFP-7202TS	1

記 号	名 称	仕 様	電 源	備 考	台数
FCU－1	ファンコイルユニット	仕 様 天井カセット形(二方向吹出し) 冷房能力 : 4.43 KW (顕熱) 暖房能力 : 7.53 KW 水 量 15.4 L/min 付属品 化粧ﾊﾟﾈﾙ, 液晶ﾘﾓｺﾝ, 熱動式電動3方弁, 他付属品一式	1φ-100V-74W	児童室Ⅰ FWHC 6BR 防振吊り	1
FCU－2	ファンコイルユニット	仕 様 天井カセット形(二方向吹出し) 冷房能力 : 8.02 KW (顕熱) 暖房能力 : 13.12 KW 水 量 27.0 L/min 付属品 化粧ﾊﾟﾈﾙ, 液晶ﾘﾓｺﾝ, 熱動式電動3方弁, 他付属品一式	1φ-100V-110W	児童室Ⅱ FWHCB 12BR 防振吊り	1
HH－1	採熱ヘッダー	仕 様 組立式分配ヘッダー 25A×4 回路 主管口径 32A 付属品 ﾎﾞｰﾙﾊﾞﾙﾌﾞ25A×8 専用固定ブラケット, その他標準付属品一式		機械室	1
HH－2	温水ヘッダー	仕 様 4 回路 主管口径 32A 付属品 熱動弁15A×4, ｼﾞｮｲﾝﾄﾊﾞﾙﾌﾞ15A×4, ﾊｰﾌｼﾞｮｲﾝﾄ15A×4 専用固定ブラケット, その他標準付属品一式		床下設置	1
HH－3	温水ヘッダー	仕 様 6 回路 主管口径 32A 付属品 ｼﾞｮｲﾝﾄﾊﾞﾙﾌﾞ15A×6, ﾊｰﾌｼﾞｮｲﾝﾄ15A×6 専用固定ブラケット, その他標準付属品一式		床下設置	1
HH－4	温水ヘッダー	仕 様 2 回路 主管口径 25A 付属品 熱動弁15A×2, ｼﾞｮｲﾝﾄﾊﾞﾙﾌﾞ15A×2, ﾊｰﾌｼﾞｮｲﾝﾄ15A×2 専用固定ブラケット, その他標準付属品一式		床下設置	1

NOTE

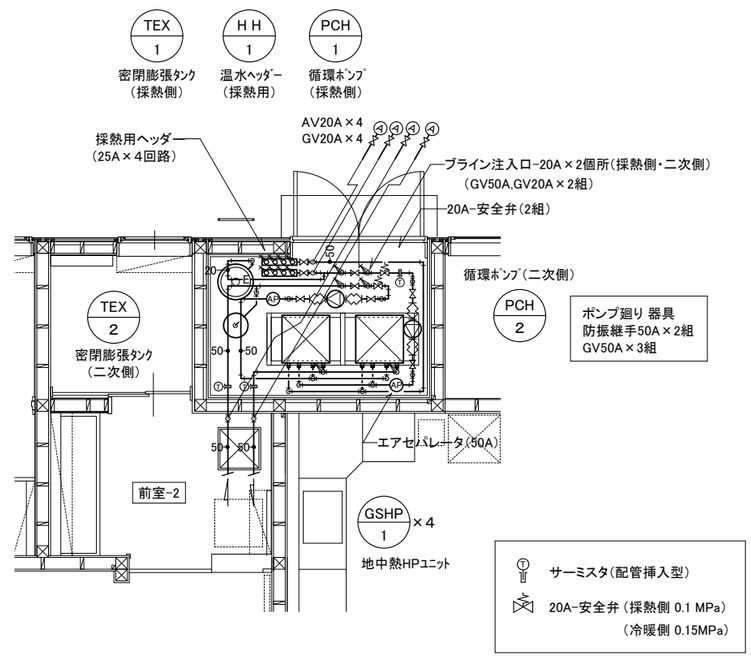
工事名称 (仮称)天間西児童センター機械設備工事		縮尺	単位 MM					平成27年 6月 作製
		所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	M — 10
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877								

図面名称	地中熱冷暖房設備	系統図・機器表
管理建築士	1級建築士登録213185号	工藤博文

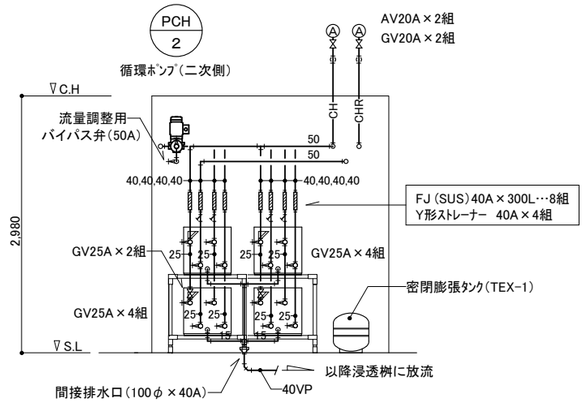


地中熱設備 平面図 1/100

延べ面積 289.83 ㎡
建築面積 299.69 ㎡

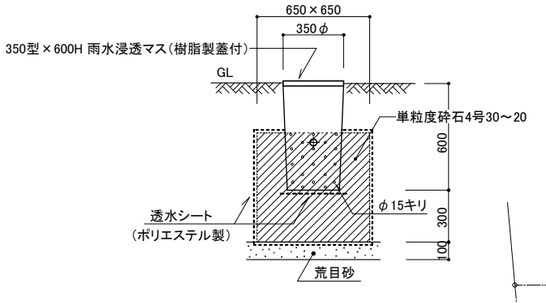


地中熱設備 機械室配管詳細図 1/50

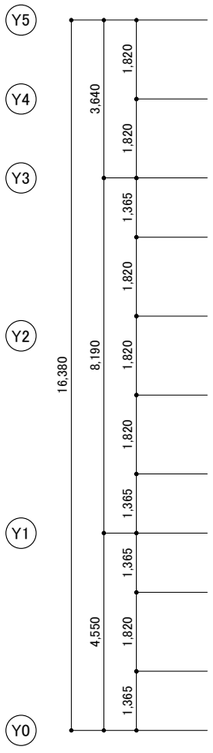


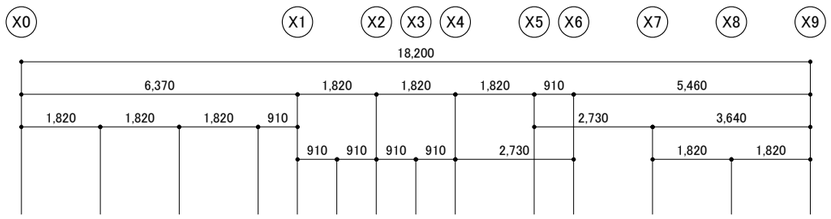
熱源廻り断面詳細図 1/50

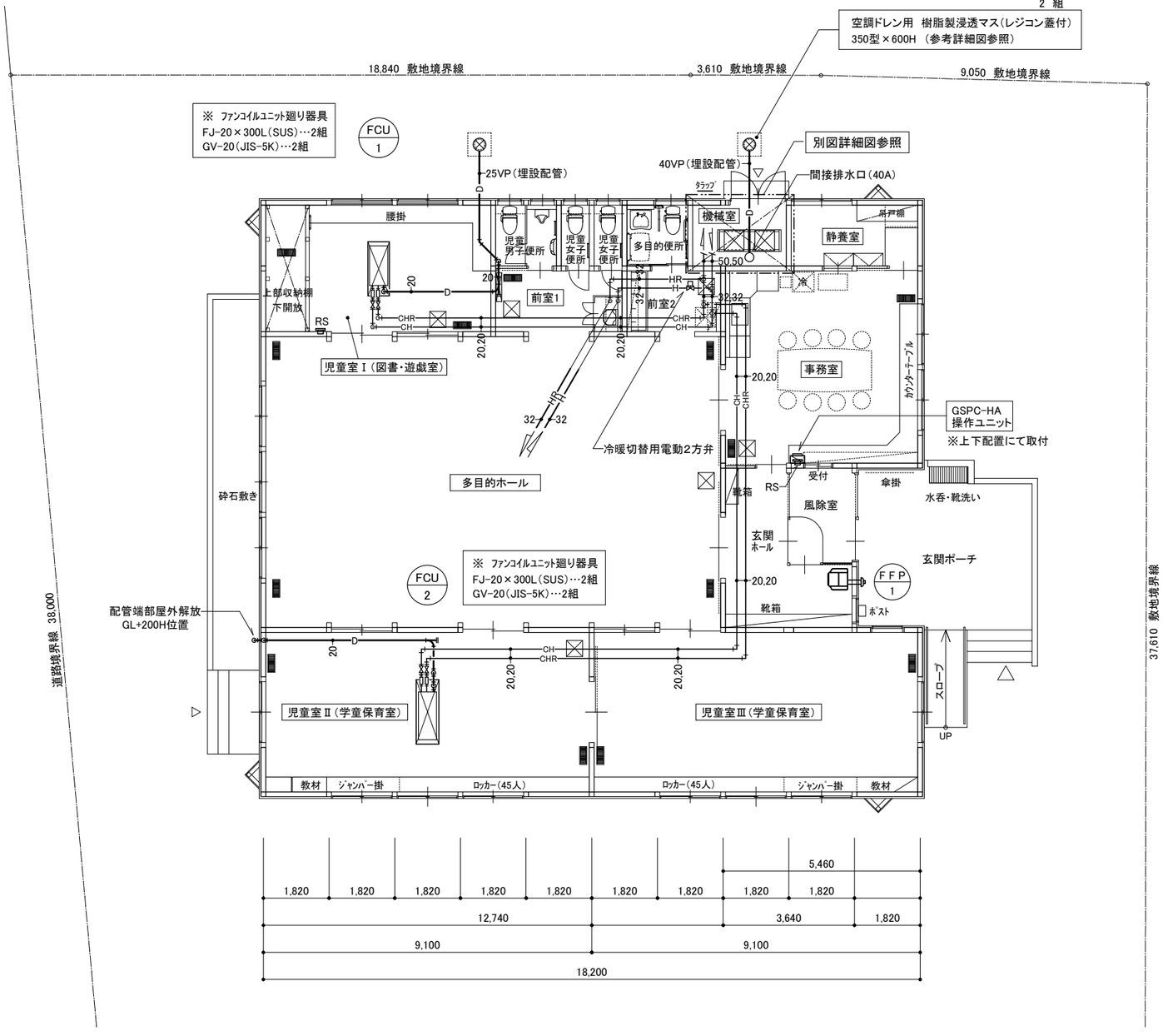
NOTE	工事名称 （仮称）天間西児童センター機械設備工事	縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/100・A3ｻｲｽﾞ 1/140 単位 MM						平成27年 6月 作製	図面名称 地中熱冷暖房設備 平面図(1)
		所長	部長	課長	担当	製図	製図	M — 11	管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877								

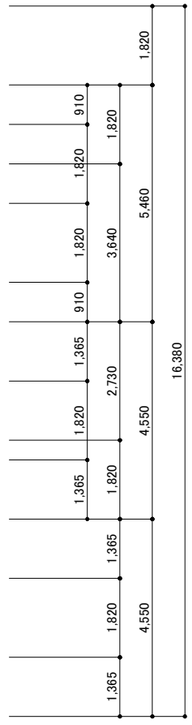


ドレン用浸透桝　参考図









地中熱設備　平面図　1/100

延べ面積　289.83 ㎡
建築面積　299.69 ㎡

NOTE

工事名称 (仮称)天間西児童センター機械設備工事	縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/100・A3ｻｲｽﾞ 1/140 単位 MM						平成27年 6 月 作製	図面名称 地中熱冷暖房設備 平面図(2)
	所長	部長	課長	担当	製図	製図	M — 12	
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877								管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文

換気設備 機器表

機器記号	機器名称	仕様・能力・付属品	消費電力 φ	消費電力 V	消費電力 W	消費電力	台数	備考 設置室名
FE－1	天井換気扇	型式　低騒音形(ｲﾝﾃﾘｱ格子ﾀｲﾌﾟ)　強弱切替ﾀｲﾌﾟ 仕様　150φ × 350 m3/h × 90 Pa × 43.0 dB （強運転時） 付属品　150φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付) ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(強弱切替ﾀｲﾌﾟ)… 電気工事に支給	1φ	100	54.0		6	多目的ホール 児童室Ⅱ・児童室Ⅲ VD-20ZXP9-C
FE－2	天井換気扇	型式　低騒音形(ｲﾝﾃﾘｱ格子ﾀｲﾌﾟ) 仕様　150φ × 250 m3/h × 100 Pa × 37.0 dB 付属品　150φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付) ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （電気設備工事）	1φ	100	42.0		1	事務室 VD-20ZX9-C
FE－3	天井換気扇	型式　低騒音形(ｲﾝﾃﾘｱ格子ﾀｲﾌﾟ) 仕様　150φ × 200 m3/h × 70 Pa × 34.0 dB 付属品　150φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付) ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （電気設備工事）	1φ	100	25.5		2	児童室Ⅰ 事務室(流し) VD-18ZX9-C
FE－4	天井換気扇	型式　低騒音形(ｲﾝﾃﾘｱ格子ﾀｲﾌﾟ) 仕様　100φ × 100 m3/h × 80 Pa × 35.5 dB 付属品　100φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付) ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （電気設備工事）	1φ	100	20.0		1	静養室 VD-15ZXP9-C
FE－5	天井換気扇	型式　低騒音形(人感センサー付タイプ) 仕様　100φ × 50 m3/h × 50 Pa × 32.0 dB 付属品　100φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付) ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （電気設備工事）	1φ	100	10.5		2	児童男子便所 多目的便所 VD-10ZAC9
FE－6	パイプ用ファン	型式　格子グリル(人感ｾﾝｻｰﾀｲﾌﾟ) 仕様　100φ × 50 m3/h × 8 Pa × 23.0 dB 付属品　100φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付) ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ （電気設備工事）	1φ	100	3.5		2	児童女子便所 V-08PAD6
FE－7	壁付換気扇 (温度ｽｲｯﾁと連動)	型式　格子タイプ(電気式シャッター付) 仕様　羽根径 20cm × 200 m3/h × 33 dB 付属品　ステンレス製ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ(防虫ｱﾐ付) 露出形温度スイッチ(自動～切～連続)設定温度範囲 0 ～ +50℃	1φ	100	11.5		1	機械室 EX-20EK6-C FS-6TE1
CF－1	天井扇	型式　天井取付形 仕様　羽根径 900φ × 最大風量 10,200 m3/h ～ 最小風量 1,900 m3/h 消費電力(最大時)48W ～ (最小時)12W 付属品　速度調節器(3段階切替)、吊り下げパイプ長さ＝630mm付	1φ	100			2	多目的ホール C90-WC-BK

※ 特記事項

(1) 機器型番は参考品番とする。

(2) 強弱切替換気扇用ｽｲｯﾁ(電気工事に支給)、他の換気扇用ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ取付及び配線工事共…電気設備工事

(3) 換気扇取付天井開口部及び補強工事は建築工事とする。

換気設備 機器表

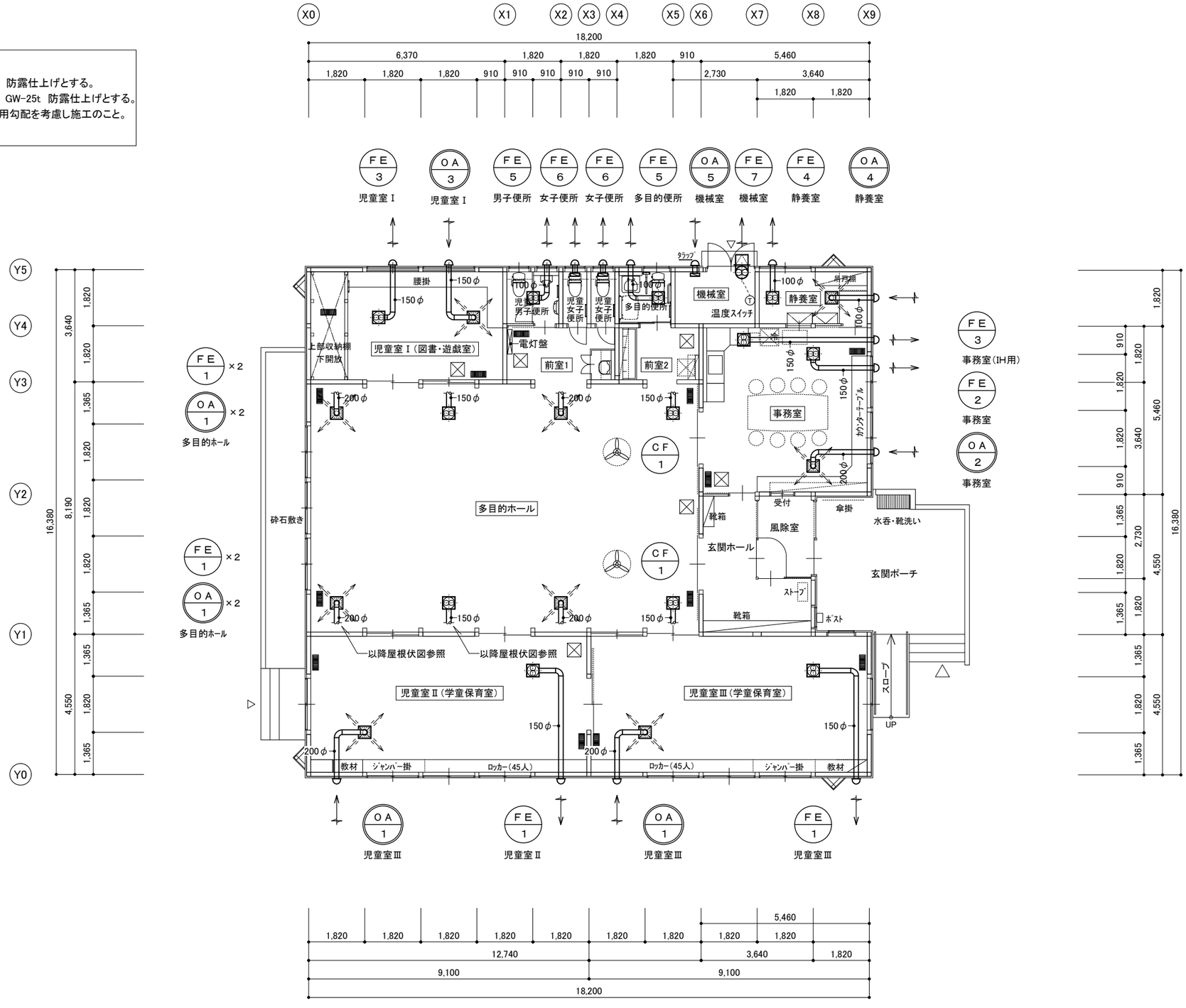
機器記号	機器名称	仕様・能力・付属品	消費電力 φ	消費電力 V	消費電力 W	消費電力	台数	備考 設置室名
OA－1	自然給気口	型式　天井・壁取付 給排気ｸﾞﾘﾙ （ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製） 仕様　風量調節機構付(全閉可能)　200φ×285×285 風量 350 m3/h × 23 Pa 付属品　ネットフィルター 200φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付)					6	多目的ホール 児童室Ⅱ・児童室Ⅲ P-23GL5
OA－2	自然給気口	型式　天井・壁取付 給排気ｸﾞﾘﾙ （ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製） 仕様　風量調節機構付(全閉可能)　200φ×285×285 風量 300 m3/h × 17 Pa 付属品　ネットフィルター 200φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付)					1	事務室 P-23GL5
OA－3	自然給気口	型式　天井・壁取付 給排気ｸﾞﾘﾙ （ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製） 仕様　風量調節機構付(全閉可能)　150φ×225×225 風量 200 m3/h × 22 Pa 付属品　ネットフィルター 150φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付)					1	児童室Ⅰ P-18GL5
OA－4	自然給気口	型式　天井・壁取付 給排気ｸﾞﾘﾙ （ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製） 仕様　風量調節機構付(全閉可能)　100φ×170×170 風量 100 m3/h × 20 Pa 付属品　ネットフィルター 100φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付)					1	静養室 P-13GL5
OA－5	自然給気口	型式　角型・壁取付差圧式給気ユニット(不織布ﾌｨﾙﾀｰ付) 差圧感応圧力調整機能付 仕様　150φ × 風量 200 m3/h × 78 Pa （低設定時） 付属品　150φ-ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ(防虫ｱﾐ付)					1	機械室 P-18QSU

NOTE

工事名称	(仮称)天間西児童センター機械設備工事	縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/100・A3ｻｲｽﾞ 1/140 単位 MM						平成27年 6月 作製
青森県A1の2号	株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	所長	部長	課長	担当	製図	製図	M — 13
								図面名称 換気設備 機器表
								管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文

※特記事項

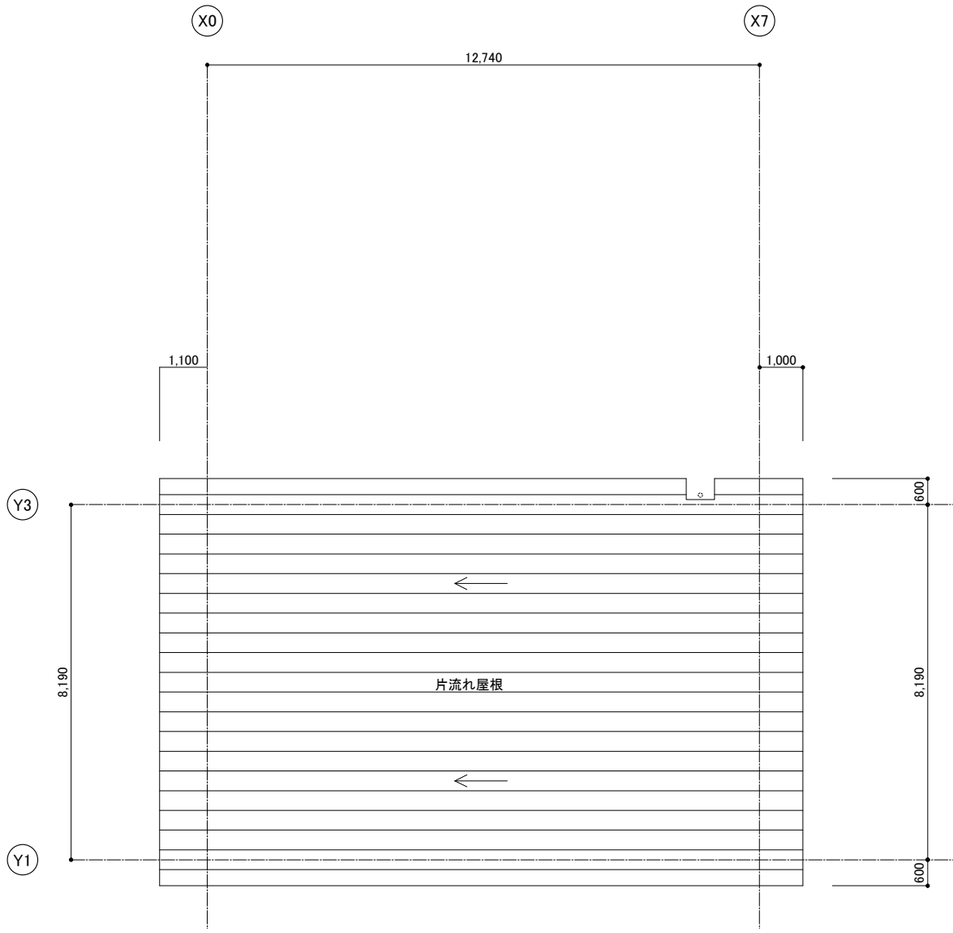
(1) 換気用 給気ダクトは全て、GW-25t 防露仕上げとする。
(2) 換気用 排気ダクトは外壁より1.0m GW-25t 防露仕上げとする。
(3) 給気・排気・換気用ダクトは、ドレン用勾配を考慮し施工のこと。



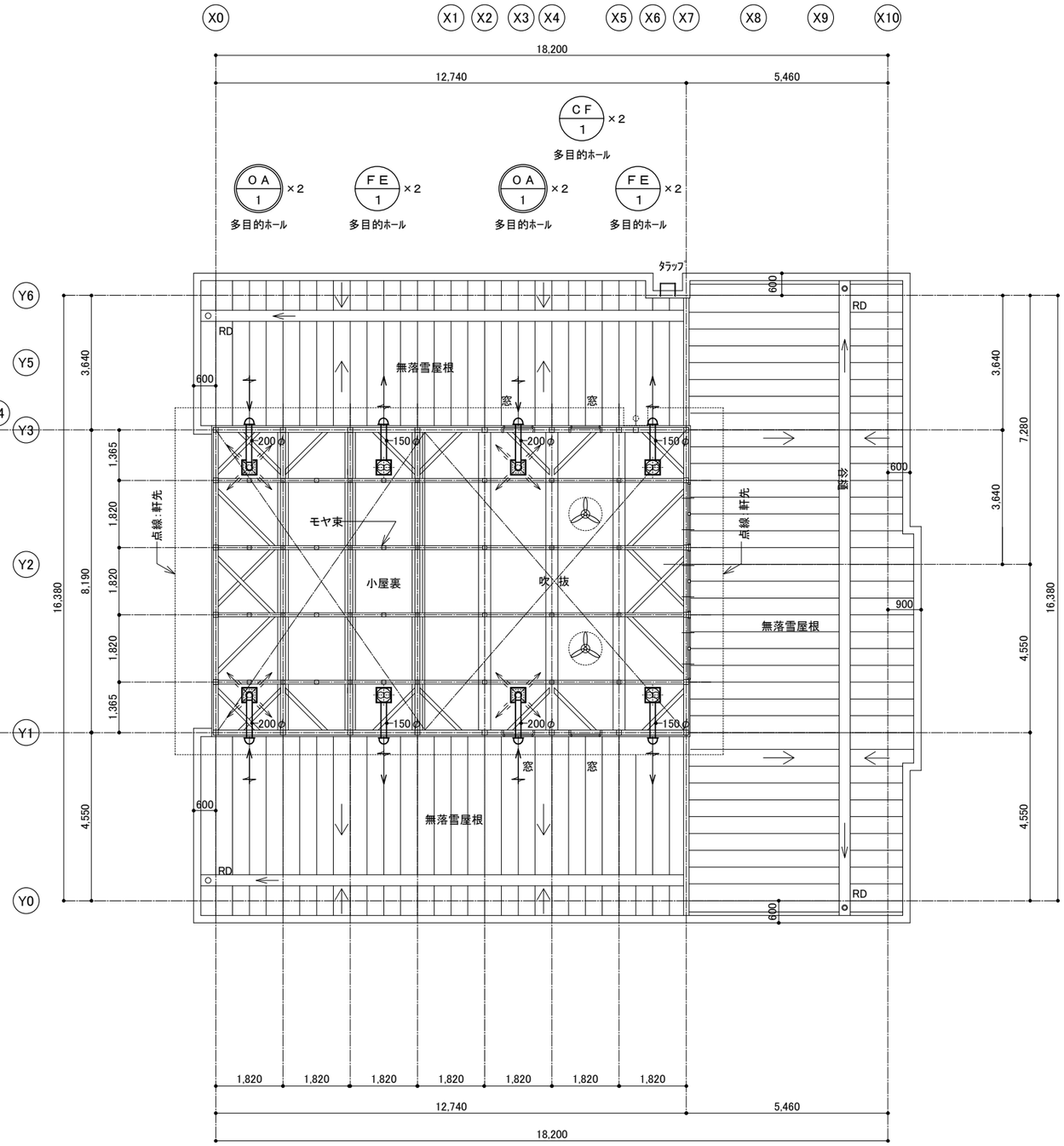
換気設備 平面図 1/100

延べ面積 289.83 ㎡
建築面積 299.69 ㎡

NOTE	工事名称 (仮称)天間西児童センター機械設備工事	縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/100・A3ｻｲｽﾞ 1/140 単位 MM	平成27年 6月 作製	図面名称 換気設備 平面図
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	所長 / 部長 / 課長 / 担当 / 製図 / 製図	M — 14	管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文

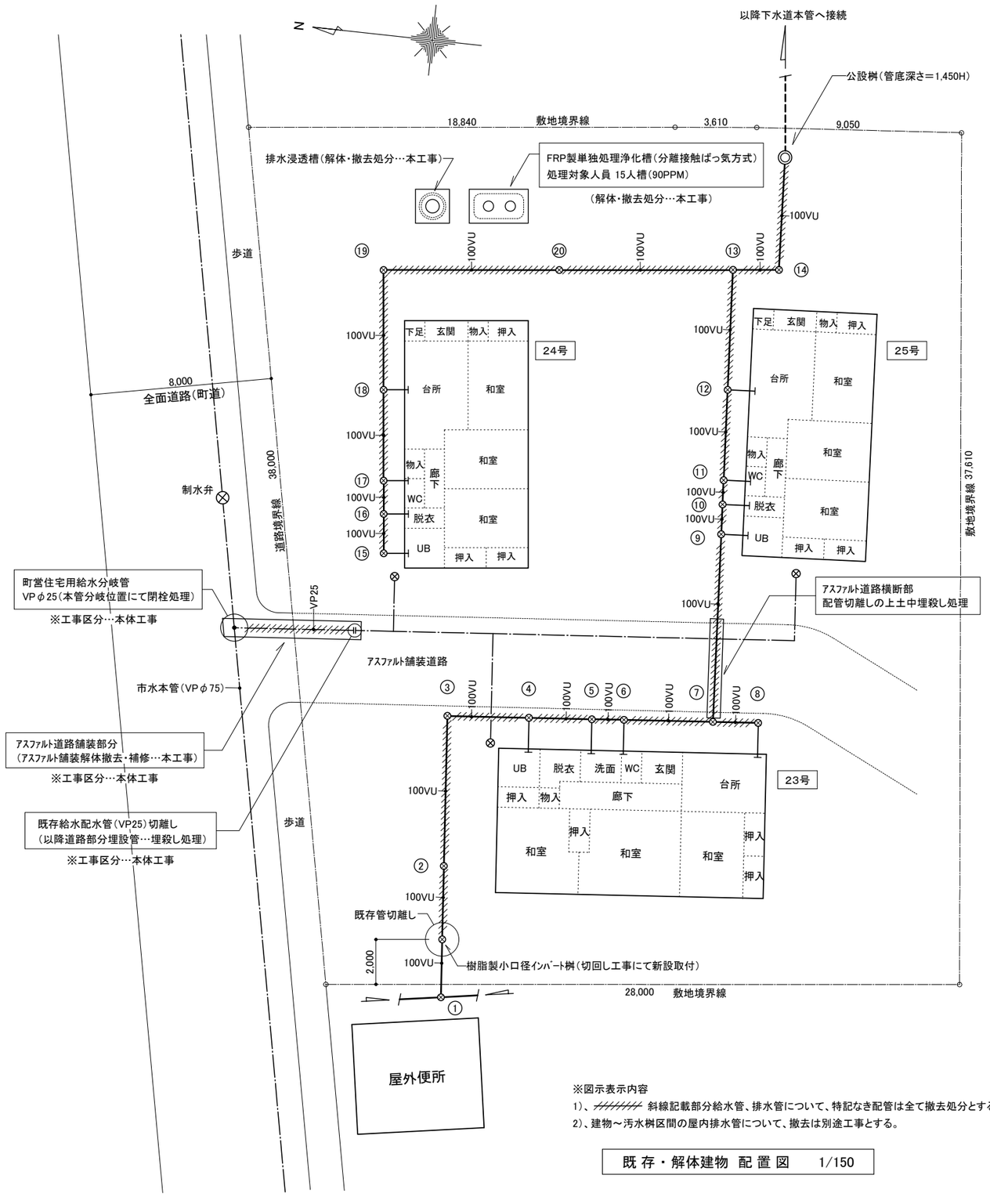


屋根伏図 1/100



換気設備 屋根伏図・吹抜 1/100

NOTE	工事名称 (仮称)天間西児童センター機械設備工事	縮尺 A2ｻｲｽﾞ 1/100・A3ｻｲｽﾞ 1/140 単位 MM						平成27年 6月 作製	図面名称 換気設備 屋根伏図
		所長	部長	課長	担当	製図	製図	M — 15	
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877								管理建築士 1級建築士登録213185号 工藤博文



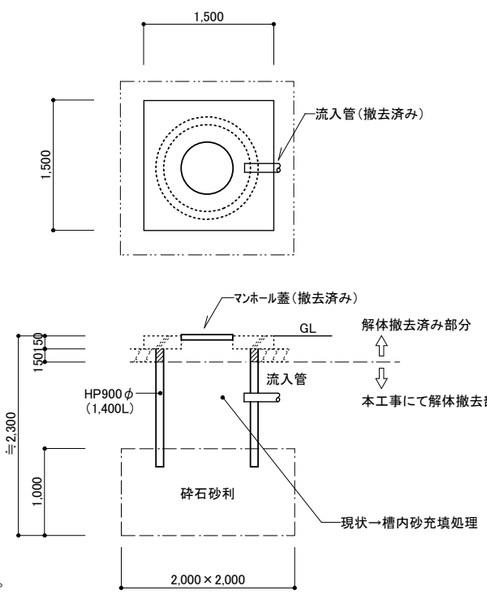
※図示表示内容
1)、////////// 斜線記載部分給水管、排水管について、特記なき配管は全て撤去処分とする。
2)、建物～汚水桝区間の屋内排水管について、撤去は別途工事とする。

既存・解体建物 配置図　1/150

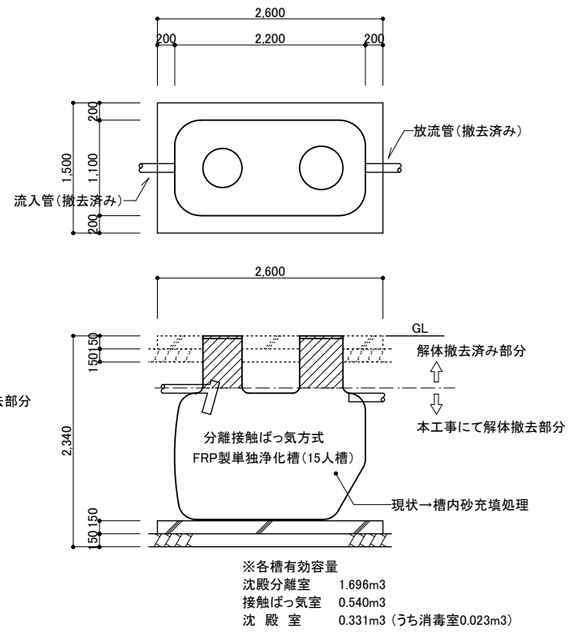
既存汚水桝リスト表

記号番号	器具名称	桝形式	桝管底深さ	個数	工事概要
①	小口径インバート桝	90Y 100-150	380 H	1	現状のまま再使用
②	小口径インバート桝	ST 100-150	540 H	1	撤去処分
③	小口径インバート桝	90L 100-150	985 H	1	撤去処分
④	小口径インバート桝	UT100×75-150	880 H	1	撤去処分
⑤	小口径インバート桝	UT100×75-150	875 H	1	撤去処分
⑥	小口径インバート桝	45YS 100-150	910 H	1	撤去処分
⑦	小口径インバート桝	90L 100-150	940 H	1	撤去処分
⑧	小口径インバート桝	UTK100×75-150	470 H	1	撤去処分
⑨	小口径インバート桝	ST 100-150	1,270 H	1	撤去処分
⑩	小口径インバート桝	UT100×75-150	1,305 H	1	撤去処分
⑪	小口径インバート桝	ST 100-150	1,310 H	1	撤去処分
⑫	小口径インバート桝	UT100×75-150	1,385 H	1	撤去処分
⑬	小口径インバート桝	90Y 100-150	1,500 H	1	撤去処分
⑭	小口径インバート桝	90L 100-150	1,530 H	1	撤去処分
⑮	小口径インバート桝	90L 100-150	530 H	1	撤去処分
⑯	小口径インバート桝	UT100×75-150	560 H	1	撤去処分
⑰	小口径インバート桝	45YS 100-150	630 H	1	撤去処分
⑱	小口径インバート桝	UT100×75-150	705 H	1	撤去処分
⑲	小口径インバート桝	90L 100-150	795 H	1	撤去処分
⑳	小口径インバート桝	ST 100-150	940 H	1	撤去処分

※ 特記事項
- インバート桝撤去工事については、嵩上げ用150φ（VU）管、内蓋、簡易型防護ハット共全てとする。
- 桝深さ表示は既存施工時の図面を参考にして記載している。



浸透槽参考詳細図　1/50



※各槽有効容量
沈殿分離室　1.696m3
接触ばっ気室　0.540m3
沈 殿 室　0.331m3（うち消毒室0.023m3）

浄化槽参考詳細図　1/50

NOTE

工事名称　（仮称）天間西児童センター機械設備工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所　TEL 017(741)6497　FAX 017(742)1877

縮尺 A2サイズ 1/150 A3サイズ 1/210 単位 MM

所長	部長	課長	担当	製図	製図

平成 27 年　6 月　作製

M — 16

図面名称　解体工事　既存屋外排水管敷設図

管理建築士　1級建築士登録213185号　工藤博文